「ハンドボールイヤーブック」目次

1988年度（昭和63年度）の動き

オリンピックイヤー。史上初の6～8位入賞を期待されてソウルに乗りこんだ男子代表チームは，12年ぶりの東西集結，160ヶ国の参加する熱狂のなかで健闘したが，東欧各国の堅陣，ホスト韓国の驚異的な充実にあって健闘むなしく散り，11位決定戦でアメリカを降したにとどまった。

とはいえ，日本セブンの展開した“積極ディフェンス”“攻守のクィック・スイッチ”（ツゥ・プラトーンシステム）は，各国の注目を集めるに充分，90年代に向かって日本が，意欲的な活動をくり広げられる前兆，との評価を得た。

代表チームは，春以来，かつてないトレーニングマッチを組み，特に5月のユーゴトロフィーでは，ソウルの有力金メダル候補ユーゴと引き分ける大収穫をあげ，本番への希望をふくらませた。さらに，そのユーゴを迎えての壮行シリーズ（7月，4戦）では，ついに1勝をもぎとるほどの成果につなげていた。惜しまれるのは，8月に予定していた最終トライアル・USAカップの招待が中止，国内調整を積みあげただけで，ソウルに向かわなければならなかったことだ。

ソウル大会そのものは，スーウォンの会場へ連日満員に近いファンが詰めかけるなか，韓国男女が快進撃。女子は，全世界の関係者があっ気にとられるうちに堂々金メダルをもぎとり，男子もソ連と決勝で激突，銀メダルを飾る殊勲となった。

アジアの盟友，隣国の韓国のこと大躍進は，日本にも大きな刺激を与えたことはいうまでもない。

国内イベントでは，宿願の小学生による全国大会が8月京都でスタートしたのが特筆される。指導者の養成，大会の運営など課題も多いが，このあとの発展に興味がかけられる。

二巡目を迎えた国体は新たに成年男子に2部が設けられ，全種別に学生の参加が解禁となったのも目立つ動きといえた。

国内タイトルでは，女子の大崎電気の活躍が際立ち，男子は本田技研鈴鹿が日本リーグを握って注目された。全日本総合は，大崎電気が男女カップル優勝を果たし，オーナーの渡辺和美氏，女子監督の佐藤章治氏が相次いで他界する大会直前の悲運をはねのけた。

渡辺氏は，日本協会副会長のほか，1972年，日本人で初めて国際ハンドボール連盟理事に選ばれた人。今後の日本球界の海外事業に与える影響は大きい。

全日本高校は男・小禄，女・浦和実業の惑星が勝ち，平成と元号を改めた初の全国高校選抜は男・明星，女・夙

川学院が春を飾った。中学大会は男・松橋，女・明野と九州勢が強味をみせ，全日本学生は男・早大，女・東女体大が優勝を遂げている。

国際的には，8月シリアで17歳以下による第1回アジア・ユースが開かれ，この大会を待ちかねた日本など9ヶ国が参加，アジアのあすを荷う若者たちが力感あふれる試合を連続させた。

ここでも韓国の強さが光り，日本はメンバー編成の遅れも響いて7位に終っている。

ハンガリー女子の強豪スパルタカス・ブダペストを招いて国際大会が8月に行われたが，このイベントはいわゆるプライベート・トーナメント。日本協会の手を離れて，このような事業が企画される時代になった点が意義深い。同様に12月，中国での五象杯に日新製鋼，1月に大崎電気男子が西ドイツのニーダーザクセン・カップ参加するなど，単独チームの本格的国際交流が活発になったのも評価していい。

協会運営面では，1月の審判会議で1987年から世界に先がけて施行に踏み切っていたいわゆる「バルセロナ4項目」の全面撤廃（1989年4月1日から）を決め，少なからず国内に衝撃を与えた。「バルセロナ4項目」は将来性を買われながらも，採用へと向かう空気が薄く，日本協会も断念したものだ。

1957年11月に制定された「アマチュア規程」が，時代にそぐわぬ内容という観点から廃棄され，7月9日付で新しい「競技者資格規程」が発効されたのも，大きなできごとといえた。

金銭の授受を厳しく規制した旧来の規程は，競技力の“尖鋭化”によって，欧米ではすでに有名無実となり，国際ハンドボール連盟も，1980年に新規程を公けにしていた。

日本協会は，こうした時の流れを感じとりながらも，古い思想にとらわれ新しい方向を打ち出せないままでいたものである。

新規程は，そうした遅れを一気に取り戻す急進的な内容で，本場ヨーロッパの代表チームやクラブが採用しているユニホームへの広告表示を認めるなど，他競技団体からも注目されるものとなった。

人事面では，代表チーム監督の入れ替りが目立ち，全理事が，任期を約2ヶ月残して1989年2月11日に退任届を提出したのも異例の事態といってよい。

審判界は，またしても悲願のオリンピック・レフェリーを送り出すことができなかったが，若い人材に拡充がみられ，4年後に期待を抱かせている。

プレーヤーの個人記録では，男子代表チームの主将・井藤英忠（日体大一湧永製薬）の公式国際試合出場100回達成が光る。史上2人目，ＧＫとしては初の大記録だ。

今年度に来日した外国チームはアイスランド，ユーゴ，スウェーデンの各男子代表，単独チームでは初めてスイスからＡＴＶ・バーゼルショタット男女が姿を見せ，韓国との交流も，相変らず，盛んに行われた。

登録人口はチーム総数3319，人数62,357と僅かに前年を上回り，収支決算（一般会計）は65,747,161円でまとめあげられている。

I　名簿編・役員

◇日本協会役員（昭和63年度＝平成元年２月11日付で全員退任）

・会長　斎藤英四郎

・副会長　荒川清美，渡辺和美（63年11月25日死去），盛田正明

・顧問　鈴木達雄，平井富三郎，田村正衛，徳永陸繁，林達夫

・参与　常松喬，岩野次郎，浜田義明，外山准二，阿部二郎，植村肇

・専務理事　安藤純光

・理事　大野金一，滝口三郎，川上整司，伊藤和夫，北川勇喜，阿部徳之助，大塚文雄，西村亮治，清水正，光島磯雄，藤田八郎，山田稔，中沢重夫，佐野和夫，塩川安賢～以上定員20名（含む会長，副会長）～

・参事　中村崇，森恭一，竹野秀輝，中根武彦，槙敏夫，河本武夫，柳井文治，富永劭

・監事　松本重雄，都野雄二

・常任顧問（国際担当）境井秀三

◇日本協会審判審査委員（昭和63年度）

・委員長　藤田八郎

・委員　岡本克彰，狩野辛介，佐分正典，加藤雅之

◇ナショナルチーム

・男子監督　野田清（63年10月５日で退任），津川昭（63年11月26日新任）

・女子監督　樫塚正一（平成元年３月31日で退任），緒方嗣雄（平成元年４月１日新任）

・男子ジュニア監督　本田洋（63年10月31日で退任），早川清孝（平成元年１月14日新任）

・女子ジュニア監督　山崎武

・男子ユース監督　本田洋が63年８月31日まで兼任，そのあと空席

◇日本体育協会評議員　安藤純光

◇日本オリンピック委員会委員　安藤純光

◇1994年広島アジア大会　委員　安藤純光（平成元年３月29日まで），荒川清美（平成元年３月29日新任）

◇日本体協競技力向上専門委員会委員　北川勇喜（63年12月10日まで），そのあと空席

◇日本体協国民体育大会競技運営専門委員会委員　安藤純光

〔参考〕

◇日本オリンピック委員会常任委員　荒川清美

◇日本体協学識経験評議員　荒川清美

◇日本協会事務局

・事務局長　関口雄康

・事務局　斉藤博，清水雅子（日本リーグ），菅野恵理

◇**全国評議員（昭和63年度）**

松本博（北海道），太田尚光（青森），箱崎敬吉（岩手），高橋善幸（宮城），松田光雄（秋田），五島訓二（山形），加藤岳郎（福島），山内孝雄（茨城），高橋隆夫（栃木），高橋潔（群馬），遠藤健次（埼玉），浮谷貞雄（千葉），岡村昭二（東京），佐分正典（神奈川），古屋正（山梨），山田馨（新潟），柳沢民弥（長野），金原至（富山），村井輝邦（石川），華立要（福井），吉田定静（静岡），幸村稔（愛知），鈴木義男（三重），上妻忠夫（岐阜），尾本和男（滋賀），小西博喜（京都），神田清（大阪），三浦和夫（兵庫），森田正英（奈良），山田進（和歌山），松原紀機（鳥取），船江昭光（島根），永井恒三郎（岡山），平田幸男（広島），藤田信義（山口），松原忠(香川)，佐藤公美（徳島），高橋満年（愛媛），酒井満（高知），小袋是郎（福岡），甲斐忠義（佐賀），原田国男（長崎），井薫（熊本），福田稔（大分），山田龍雄（宮崎），堀之口貞男（鹿児島），新垣健（沖縄），横地宇吉（全日本実連），山田計（全日本教職員連），久保義雄（全日本学連），古庄昌雄（全日本自衛隊連），三浦公（全国高体連ハンドボール部）～以上定員52名～

〔参考〕平成元年３月21日に選任された「平成元・２年度日本協会理事」は次のとおり　～ＡＢＣ順～

荒川清美（副会長，４選），安藤純光，藤田八郎，市原則之，伊藤和夫，加藤雅之，川上整司，盛田正明（副会長，再選），中沢重夫，大西武三，大塚文雄，斎藤英四郎（会長，７選），清水正，佐野和夫，塩川安賢，立石孝雄（副会長，初），滝口三郎，植村肇以上18名。このあと西村亮治，竹野奉昭が４月８日付で新任。

◇**日本リーグ主要運営委員（昭和63年度）**

- 委員長　西村亮治
- 副委員長　寺垣俊彦，木野実

◇**全国連盟主要役員（昭和63年度）**

▽全日本実業団連盟
- 会長　渡辺和美(63年11月25日死去)
- 理事長　竹野奉昭

▽全日本教職員連盟
- 会長　山田計
- 理事長　柳井文治

▽全日本学生連盟
- 会長　米倉功
- 理事長　中沢重夫

▽全日本自衛隊連盟
- 会長　富永劭
- 理事長代行　早坂勢三

▽全国高体連ハンドボール部
- 部長　佐野和夫
- 副部長　三浦公，金原至，平田幸男

◇**国際ハンドボール連盟（ＩＨＦ）主要役員（1988～1992年度）**

・会長　エルビン・ラン（オーストリア，再選）
・首席副会長　ウラジミール・クリフゾフ（ソ連）
・次席副会長　アルベルト・ド・サンロマン（スペイン）
・大陸代表副会長　バルバカール・フォール（セネガル），ピーター・ベーニング（アメリカ），シェイク・ファヒド・アルアーマド・アルサバハ（クウェート）
・専務理事　ライモンド・アン（フランス，初）
・理事　クルト・バドマルク（スウェーデン），エリック・エリアス（スウェーデン），イオン・クンスト・ゲルマネスク（ルーマニア），イストハン・マダラッツ（ハンガリー），ハンス・ゲオルグ・ヘルマン（東独），クリストフ・ヤポ・アチイ（コート・ジボアール），ホセ・マリア・テキセイラ（ブラジル），モハメッド・アリ・アブール（バーレーン），オットー・シュバルツ（スイス），ペーター・ブーク（ユーゴ）
・監事　金宗河（韓国），ヘンリック・バエンナーベリー（フィンランド）
・監事補佐　渡辺和美（日本，1988年11月25日死去），スタイブ（スイス）

◇アジアハンドボール連盟（ＡＨＦ）主要役員（1988～1992年度）

・会長　シェイク・ファヒド・アルアーマド・アルサバハ（クウェート，4選）
・首席副会長　モハメッド・アリ・アブール（バーレーン）
・専務理事　シャド・アブル・ハッサン（パキスタン）
・財務理事　ファリード・アル・アジール（クウェート）
・理事　荒川清美（日本），金宗河（韓国），モニール・アル・ボルノ（パレスチナ），モハマド・アル・ノエイミ（カタール），アームド・アル・フェルダン（アラブ首長国連邦），シュ・アドカリ（ネパール）

◇国際ハンドボール連盟加盟国　101ヶ国（ほかに仮加盟国１）

◇アジアハンドボール連盟加盟国　25ヶ国

◇第22回国際ハンドボール連盟通常総会（９月14，15日・ソウル）出席，荒川清美，安藤純光

◇第７回アジア・ハンドボール連盟通常総会（９月12日・ソウル）出席，荒川清美

II　名簿編・代表選手

◇昭和63年度「男子」ナショナルチーム

・ＧＫ

□井藤　英忠（湧永製薬）

□矢内　　浩（大崎電気）
□橋本　行弘（本田技研鈴鹿）
　秋吉　哲男（大同特殊鋼）
・ＦＰ
□玉村　健次（湧永製薬）
□荷川取義治（湧永製薬）
　酒巻　清治（湧永製薬）
□奥田　新治（湧永製薬）
□立木　浩二（本田技研鈴鹿）
□田口　　隆（本田技研鈴鹿）
□山村　敏之（本田技研鈴鹿）
　藤井　孝一（本田技研鈴鹿）
□山本　興道（大崎電気）
□首藤　信一（大崎電気）
□宮下　和広（大崎電気）
□西山　　清（日新製鋼）
□藤井　　泉（日新製鋼）
□高村　誠一（大同特殊鋼）
　□印はソウル・オリンピック代表選手

◇昭和63年度「女子」ナショナルチーム

・ＧＫ
　小深田由紀子（ジャスコ）
　小口　明子（日本ビクター）
　増見　美果（大和銀行）
　村山みどり（東女体大）
・ＦＰ
　丸田　紀子（大和銀行）
　赤瀬　珠栄（大和銀行）
　上村多恵子（大和銀行）
　袰川亜由美（大和銀行）
　鈴木智津子（大和銀行）
　野嶋ちえみ（立石電機）
　橋本奈美子（立石電機）
　比嘉　晴美（立石電機）
　海道　元子（シャトレーゼ）
　松沢　祐子（シャトレーゼ）
　磯山　弘美（筑波大）
　林　　智恵（筑波大）
　松尾　輝子（大崎電気）
　梅原　直美（大崎電気）
　尾苗　裕美（日立栃木）
　根本　幸枝（日本ビクター）
　佐藤　泰子（ＪＵＫＩ）
　渡辺佳乃子（ジャスコ）
　道上　圭子（ブラザー工業）
　松田　史佳（北国銀行）
　西村　朋子（武庫川女大）
　市来　未央（日体大）

◇昭和63年度「男子ジュニア」ナショナルチーム～第7回世界ジュニア選手権アジア大陸極東地区予選代表メンバー～

・ＧＫ
　比嘉　　薫（日体大）
　高木　俊明（本田技研鈴鹿）
　工藤　　竜（大崎電気）
・ＦＰ
　相馬　栄司（大崎電気）
　熊谷　秋透（大崎電気）
　林　　昌英（国士館大）
　源内　利之（国士館大）
　鎌塚　和彦（湧永製薬）
　川崎　啓三（本田技研熊本）

三輪　澄高（同志社大）
大村　耕一（早大）
中山　　剛（福岡大）
広瀬　　隆（大阪経大）
柏崎　　孝（日体大）
長瀬　毅志（中部大）
加藤　剛基（順天堂大）
岩本　直典（熊本市商高）

◇昭和63年度「女子」ジュニアナショナルチーム

・ＧＫ
千葉　輝美（シャトレーゼ）
岩井千代子（北国銀行）
小松崎浩子（日体大）
・ＦＰ
飯塚　景子（日立栃木）
貴田　直子（日立栃木）
後藤真智紅（日体大）
竹吉　由江（日体大）
稲田　知鶴（ジャスコ）
山之内理代（日本ビクター）
森　　里美（北国銀行）
生方みゆき（シャトレーゼ）
甲斐三紀子（ブラザー工業）
斉藤八千代（立石電機）
日比野雅子（東女体大）
柳内　千秋（筑波大）
山本　真理（大阪体大）
比嘉恵津子（大阪体大）
西　　朋子（武庫川女大）
上田寿磨子（ＪＵＫＩ）
高浪　栄江（佐賀関高）
西村　聖子（四天王寺高）
西田由紀子（小松市女高）
佐藤　優子（浦和実業学園高）
野村由加里（三井高）
執印　麻樹（佼成学園女高）

◇昭和63年度「男子ユース」ナショナルチーム～1989年８月・第１回アジアユース選手権出場メンバー

・ＧＫ
大橋　一弘（中部大）
須田　洋介（総社高）
四方　　篤（北陽高）
・ＦＰ
関根　和彦（本田技研鈴鹿）
後藤　　総（大阪体大）
松本　　孝（小山高）
豊島　博世（筑波大坂戸）
谷村　貴郎（比花学院）
花岡　道治（鎮西学院）
中垣内孝夫（日体大荏原）
弟子丸隆一郎（拓大一高）
森本　彰宏（北陽高）
藤井　達也（土浦湖北高）
石木　　歩（修道高）

（注）「男子ユース・ナショナル」の編成は史上初。「女子ユース」は未編成

表　彰

◇第38回日本スポーツ賞ハンドボール

部門賞（読売新聞社制定）
•井藤　英忠（全日本代表，湧永製薬，ＧＫ，29歳）

◇国際ハンドボール連盟ハンス・バウマン氏トロフィー
　オーストリア協会

◇昭和63年度関西運動記者クラブハンドボール分科会表彰
•男子最優秀選手賞　矢内浩（全日本代表，大崎電気，ＧＫ）
•女子最優秀選手賞　金玉花（大崎電気，ＦＰ）
•新人賞　比嘉晴美（立石電機，ＦＰ）
•指導者賞　高橋精一（大阪高校男子選抜監督，桃山学院高教諭）
•特別賞　山村敏之（全日本代表，本田技研鈴鹿，ＦＰ）

◇「スポーツイベント・ハンドボール」誌年間ＭＶＰ・ベストセブン
•男子最優秀選手　宮下和広（大崎電気，ＦＰ）
•ベストセブン
・ＧＫ　矢内　　浩（大崎電気）　③
・ＦＰ　山本　興道（大崎電気）　初
　　　　宮下　和広（大崎電気）　②
　　　　田口　　隆（本田技研鈴鹿）③
　　　　山村　敏之（本田技研鈴鹿）②
　　　　荷川取義浩（湧永製薬）　初
　　　　西山　　清（日新製鋼）　②

•女子最優秀選手　金　玉花（大崎電気，ＦＰ）
•ベストセブン
・ＧＫ　小口　明子（日本ビクター）②
・ＦＰ　金　　玉花（大崎電気）　初
　　　　尹　　秉順（大崎電気）　②
　　　　松尾　輝子（大崎電気）　初
　　　　比嘉　晴美（立石電機）　②
　　　　近藤　育子（ジャスコ）　初
　　　　藤井　直美（東女体大）　初

III　名簿編・レフェリー

◇1988～89年度国際公認審判員・カテゴリーＡ
千野　恒夫（山梨）
後藤　　登（東京）
島田　房二（東京）
清水　宜雄（千葉）
岡本　研二（茨城）
北井　晴次（埼玉）
上久保重次（埼玉）
森　　敏郎（愛知）
川島　克之（愛知）
島崎　政治（大阪）
井上　真也（大阪）
中本　成基（広島）
三枝　慶彦（山梨）
福田　英明（福岡）
松尾　勝也（福岡）

◇同・カテゴリーＢ

浜田　浩和（東京）
小笠原久郎（東京）
山本　浩之（大阪）
浅井　隆志（大阪）
松原　誠起（愛媛）
武智　誠治（愛媛）
酒井　伸夫（東京）
伊藤　則之（大阪）
馬場　保夫（兵庫）
浜田　浩嗣（兵庫）

◇第40回（昭和63年12月）全日本総合選手権審判団

・審判長　大塚文雄，・副審判長　斉藤実　・審判　福田英明，中本成基，島崎政治，井上真也，川島克之，森敏郎，上久保重次，北井晴次，清水宜雄，岡本研二，島田房二，後藤登，山本浩之，浅井隆志，小笠原久郎，浜田浩和

◇歴代全日本総合選手権男・女決勝戦担当レフェリー

①（昭25.2）男・若崎重富
　女・花畑平男
②（昭25.11）男・徳永陸繁
　女・山田　計
③（昭26）男・平岡治雄
　女・徳永陸繁
④（昭27）男・宮崎慎六
　女子行われず
⑤（昭28）男・
　女・
⑥（昭29）男・
　女・
⑦（昭30）男・
　女・
⑧（昭31）男・岡村昭二
　女・
⑨（昭32）男・
　女・
⑩（昭33）男・
　女・
⑪（昭34）男・
　女・
⑫（昭35）男・勝　繁夫
　女・
⑬（昭36）男・荒川清美
　女・越智　武
⑭（昭37）男・
　女・
⑮（昭38）男・岡村昭二
　女・松本重雄
⑯（昭39）男・松本重雄
　女・村田　弘
⑰（昭40）男・佐野和夫
　女子はリーグ制
⑱（昭41）男・岡村昭二
　女・佐野和夫
⑲（昭42）男・佐野和夫
　女・岡本克彰
⑳（昭43）男・中西敬一
　女・狩野幸介
㉑（昭44）男・岡井幸由／近藤正行
　女・佐々木兄弟
㉒（昭45）男・狩野幸介／近藤正行
　女・川口　護／中井泰彦

㉓（昭46）
㉔（昭47）
㉕（昭48）
㉖（昭49）
㉗（昭50）
（㉓〜㉗）男女ともリーグ戦制を採用。決勝担当を特定できず。

㉘（昭51）男・岡前義春／佐野和夫
女・狩野幸介／幸田末之

㉙（昭52）男・光島磯雄／狩野幸介
女・佐分正典／大塚文雄

㉚（昭54.1）男・千野恒夫／斉藤　実
女・光島磯雄／狩野幸介

㉛（昭54.12）男・狩野幸介／光島磯雄
女・斉藤　実／千野恒夫

㉜（昭55）男・狩野幸介／光島磯雄
女・北井晴次／上久保重次

㉝（昭56）男・千野恒夫／斉藤　実
女・北井晴次／上久保重次

㉞（昭57）男・千野恒夫／斉藤　実
女・北井晴次／上久保重次

㉟（昭58）男・千野恒夫／斉藤　実
女・北井晴次／上久保重次

㊱（昭59）男・北井晴次／上久保重次
女・千野恒夫／三枝慶彦

㊲（昭60）男・北井晴次／上久保重次
女・島田房二／後藤　登

㊳（昭61）男・北井晴次／上久保重次
女・後藤　登／島田房二

㊴（昭62）男・北井晴次／上久保重次
女・岡本研二／清水宜雄

㊵（昭63）男・北井晴次／上久保重次
女・島田房二／後藤　登

資　料

◇日本協会チーム登録数

1984(昭59)	3976（57609人）
85	3211（59795）
86	3236（59620）
87	3286（60374）
88(昭63)	3319（62357）

◇日本協会一般会計

1984(昭59)	収・61,684,606円
	支・74,274,631
85	収・57,313,055
	支・63,356,809
86	収・71,529,994
	支・73,574,952
87	収・77,525,782
	支・75,130,387
88	収・65,747,161
	支・66,368,680

財団法人日本ハンドボール協会
競技者資格規程

（目的）

第１条　この規程は，財団法人日本ハンドボール協会が制定した「スポーツ憲章」の趣旨を受け，国際ハンドボール連盟の競技者資格規則に準拠して，競技者がアマチュアスポーツマンとして守らなければならない事項及びこれに関連した事項について規定することを目的とする。

（競技者の定義）

第２条　この規程において「競技者」とは，財団法人日本ハンドボール協会（以下「協会」という。）及びその加盟団体に登録する選手及び役員をいう。

（遵守義務）

第３条　協会及びその加盟団体の役員及び競技者は，常に品位と名誉を重んじ，礼儀と規律を守り，スポーツマンの模範となるよう行動しなければならない。

（競技者としての資格の喪失）

第４条　次の各号のいずれかに該当する者は，競技者としての資格を失うものとする。

(1)　報酬その他の物質上の利益を受けるためにハンドボール競技に参加し，若しくはハンドボールその他の競技のコーチを行なった者又はハンドボール競技への参加若しくはハンドボールその他の競技のコーチに関し報酬その他の物質上の利益を受ける契約を締結した者。但し，教職にある者がその職務としてハンドボールその他の競技を指導する場合又はクラブその他の団体の被用者がその職務及び地位に相応しい報酬を受ける場合を除く。

(2)　協会が禁止した競技会又は催事に参加した者

(3)　協会の事前の承認を得ることなく，競技者自身の氏名，肖像，競技の実績等を広告に使用すること

を許した者

(4) 協会の事前の承認を得ることなく，放送，座談会，演芸又は映画その他の行事に出演又は参加した者。但し，協会がハンドボール競技の普及，発展を目的とするものと認めたものについてはこの限りではない。

(5) 競技に際して，ドーピング又は暴力行為等フェアプレーの精神に明らかに違反した者

(6) この規定に違反するなど競技者として相応しくないと協会が認めた者

(競技者が享受できる利益)

第5条 競技者は，試合及びその準備に関し，次の範囲内で金銭の支払その他の利益を受けることができる。

(1) 協会が支弁又は支給する次に掲げるもの

A 練習及び試合の期間の食費及び宿泊費

B 被服及び用器具

C 交通費

D 協会の定める小遣

E 医療，物理療法及び健康維持に要する費用

(2) 協会の定めるところにしたがって行なう正常の収入の補償

(3) 賞。但し，賞状，メダル，トロフィー，カップ，盾等を原則とし，副賞を授与するときは，競技会の品位を傷つけるものであってはならない。

(4) 競技者の能力を更に向上させるための奨学金

(5) 審判又はコーチの経費として協会の定めるもの

(報酬等の処理)

第6条 協会の事前の承認を得て行なわれた第4条(3)及び(4)に関し，その結果与えられた金銭その他の報酬は，個人の収益をせず，協会により受領され，その処理については協会で決定するものとする。

(被服又は用器具上の広告)

第7条 協会は，競技会において競技者が直接使用する被服又は用器具に協会が許可しない商標又は広告を記載したものを使用させてはならない。

2 前項の被服又は用器具への表示は，その用器具自体の高さの10分の1より大きくてはならない。また，その高さは，10cmを超えてはならない。

3 第1項の規定により金銭の授受があった場合は，協会の収入とし，競技者の収益としてはならない。

(資格の審査)

第8条 競技者の資格の認定は，協会の懲罰委員会の結果に基づいて理事会が決定するものとする。

2 競技者の資格を認めない決定をしたときは，本人及び本人の所属する団体に通告するものとする。

第9条 競技者の資格を失った者が次の各号に掲げる条件を備えるに至った場合は，協会の懲罰委員会の審査を経て理事会がその資格の復帰を決定するものとする。

(1) 資格を喪失してから満2年を経過していること。

(2) 反省の情が明らかで，再び資格を喪失するような行為をしないという誓約をすること。

第10条 前2条の決定に不服のある者は，協会に対し異議の申し立てをす

ることができる。

附　則

1．この規定は，昭和63年7月9日から実施する。
2．財団法人日本ハンドボール協会アマチュア規程は廃止する。

広告許可に関する細則

この細則は財団法人日本ハンドボール協会競技者資格規程（昭和63年7月9日実施）第7条に基づき広告を許可する場合の細則を定めるものである。

1．被服・用器具への表示の高さは，被服又は用器具の高さの10分の1以内と10cm以内の双方の条件を満たさなければならない。
2．競技会の会場およびその周辺で被服を着用する場合にも許可が必要である。
3．シャツに表示する場合は，ショートパンツを同時に着用する場合に限り，シャツとパンツの総丈の10分の1以内とする。
4．競技会において競技者が直接使用する被服又は用器具に商標又は広告を記載したものを使用し，また，使用させようとする場合は，次に定める協賛金を財団法人日本ハンドボール協会（以下「協会」という。）に納入して，その許可を得なければならない。

(1)　ナショナルチームとしての活動中にその選手・役員に着用させる場合
別に協会の常務理事会の定める金額

(2)　協会主催の競技会において参加選手・役員に着用させる場合（(3)に定める場合を除く。）
別に協会の常務理事会の定める金額

(3)　協会主催の競技会において自己のチームの選手・役員に着用させる場合
別に協会の常務理事会の定める金額。ただし，日本ハンドボールリーグ所属チームで協会の定める加盟金（賛助金）を協会に納入している場合は，その金額を控除する。

(4)　その他の場合
許可の申請があった都度別に協会の常務理事会の定める金額

附　則

この細則は，昭和63年10月8日から実施する。

昭和63年度

国内主要大会成績

第40回
全日本総合選手権

昭和63年12月22日～25日
（東京・駒沢屋内競技場／駒沢体育館）

〈男子〉

▶1回戦

湧永製薬 31	18—9 / 13—4	23	福岡大
三陽商会 27	14—14 / 13—7	21	埼玉教員ク
筑波大 24	12—8 / 12—9	17	トヨタ車体
日新製鋼 40	17—12 / 23—15	27	氷見ク
大崎電気 28	15—7 / 13—8	15	長野教員
早稲田大 34	17—16 / 17—11	27	本田技研熊本
大同特殊鋼 37	13—8 / 24—7	15	浦添ク
本田技研鈴鹿 49	24—6 / 25—7	13	自衛隊呉

▶2回戦

湧永製薬 24	10—8 / 14—3	11	三陽商会
日新製鋼 34	17—10 / 17—13	23	筑波大
大崎電気 35	14—10 / 21—11	21	早稲田大
本田技研鈴鹿 32	16—10 / 16—11	21	大同特殊鋼

▶準決勝

湧永製薬 26	10—11 / 16—5	16	日新製鋼
大崎電気 21	12—9 / 9—10	19	本田技研鈴鹿

▶決勝

大崎電気 21	12—9 / 9—9	18	湧永製薬

〔優勝メンバー・大崎電気〕監督／斉藤幸司　選手／工藤竜，渡辺裕昭，矢

内浩，松岡寛，大和田和利，武田英雄，首藤信一，中田親広，山本興道，越迫敏博，菅田信也，大野達哉，山内聡，相馬栄司，宮下和広。

〈女子〉

▶1回戦

筑波大	29	15―8 14―10	18	JUKI
シャトレーゼ	35	17―9 18―5	14	京都教員
大和銀行	30	17―8 13―11	19	全福岡
ジャスコ	26	10―12 16―8	20	東女体大
立石電機山鹿	36	22―7 14―4	11	広島ク
日立栃木	20	10―9 10―10	19	日体大

▶2回戦

大崎電気	39	21―12 18―16	28	筑波大
シャトレーゼ	25	12―7 9―14 2―2 2―0	23	大和銀行
立石電機山鹿	17	8―10 9―6	16	ジャスコ

▶準決勝

大崎電気	30	16―10 14―12	22	シャトレーゼ
立石電機山鹿	15	9―6 6―8	14	日立栃木

▶決勝

大崎電気	21	10―10 11―10	20	立石電機山鹿

〔**優勝メンバー・大崎電気**〕監督／李相玉　選手／佐々木和子，宗片美智子，森田初美，松尾輝子，須永光恵，前川美弥，梅原直美，江口喜栄子，野田恭子，鈴木美佐，金玉花，福井幸代，尹秉順，香川美和，小松沢里恵。

第13回
日本リーグ（前期）

昭和63年10月23日～11月27日
（日本各地）

〈男子〉

▶1部

大同特殊鋼	26	12―11 14―14	25	三陽商会
湧永製薬	17	9―7 8―9	16	本田技研鈴鹿
日新製鋼	29	16―14 13―14	28	大崎電気
大崎電気	27	14―12 13―9	21	大同特殊鋼
本田技研鈴鹿	24	11―12 13―10	22	日新製鋼
湧永製薬	31	14―8 17―12	20	三陽商会

湧永製薬 20（12—11 / 8—7）18 大同特殊鋼

大崎電気 22（9—6 / 13—10）16 本田技研鈴鹿

日新製鋼 33（17—14 / 16—17）31 三陽商会

湧永製薬 25（12—10 / 13—9）19 日新製鋼

大崎電気 33（14—7 / 19—10）17 三陽商会

本田技研鈴鹿 25（15—9 / 10—13）22 大同特殊鋼

本田技研鈴鹿 24（12—9 / 12—12）21 三陽商会

日新製鋼 21（11—8 / 10—8）16 大同特殊鋼

湧永製薬 28（14—9 / 14—10）19 大崎電気

〔順位〕①湧永製薬（5勝）②大崎電気（3勝2敗）③日新製鋼（3勝2敗）④本田技研鈴鹿（3勝2敗）⑤大同特殊鋼（1勝4敗）⑥三陽商会（5敗）

▶2部

トヨタ車体 24（12—11 / 12—8）19 豊田自動織機

トヨタ自動車 26（14—8 / 12—16）24 中村荷役

三景 30（15—8 / 15—15）23 日鉄建材

本田技研熊本 29（17—9 / 12—11）20 大阪ガス

中村荷役 28（12—9 / 16—19）28 本田技研熊本

トヨタ自動車 43（21—7 / 22—14）21 大阪ガス

三景 34（19—10 / 15—16）26 豊田自動織機

トヨタ車体 30（15—9 / 15—10）19 日鉄建材

トヨタ自動車 33（20—13 / 13—7）20 日鉄建材

本田技研熊本 29（14—6 / 15—8）14 豊田自動織機

三景 31（15—14 / 16—12）26 大阪ガス

トヨタ車体 26（11—12 / 15—12）24 中村荷役

トヨタ自動車 27（10—11 / 17—9）20 三景

本田技研熊本 30（16—10 / 14—12）22 日鉄建材

トヨタ車体 25（15—9 / 10—10）19 大阪ガス

中村荷役 27（15—10 / 12—11）21 豊田自動織機

大阪ガス 24（13—9 / 11—12）21 日鉄建材

三景 21（10—9 / 11—12）21 中村荷役

本田技研熊本 19（8—12 / 11—7）19 トヨタ車体

トヨタ自動車 32（14—7 / 18—8）15 豊田自動織機

トヨタ自動車 25（14—10 11—11）21 トヨタ車体

三景 28（12—9 16—14）23 本田技研熊本

豊田自動織機 24（18—13 6—10）23 大阪ガス

中村荷役 31（16—10 15—8）18 日鉄建材

トヨタ自動車 26（13—13 13—8）21 本田技研熊本

三景 34（18—7 16—13）20 トヨタ車体

日鉄建材 28（16—12 12—10）22 豊田自動織機

中村荷役 29（16—12 13—9）21 大阪ガス

〔**順位**〕①トヨタ自動車（7勝）②三景（5勝1分1敗）③トヨタ車体（4勝1分2敗）④中村荷役（3勝2分2敗）⑤本田技研熊本（3勝2分2敗）⑥日鉄建材（1勝6敗）⑦豊田自動織機（1勝6敗）

〈女子〉

▶1部

大崎電気 29（12—6 17—8）14 シャトレーゼ

立石電機山鹿 25（11—6 14—13）19 大和銀行

日本ビクター 16（8—6 8—5）11 日立栃木

大崎電気 44（24—13 20—14）27 立石電機山鹿

日本ビクター 25（12—9 13—9）18 大和銀行

日立栃木 20（11—9 9—11）20 シャトレーゼ

日本ビクター 31（15—8 16—16）24 シャトレーゼ

大崎電気 37（16—12 21—16）28 大和銀行

立石電機山鹿 21（9—7 12—11）18 日立栃木

大崎電気 38（20—14 18—12）26 日立栃木

立石電機山鹿 23（8—10 15—5）15 日本ビクター

シャトレーゼ 22（11—7 11—8）15 大和銀行

大崎電気 29（13—11 16—10）21 日本ビクター

シャトレーゼ 20（10—9 10—9）18 立石電機山鹿

大和銀行 22（14—10 8—8）18 日立栃木

〔**順位**〕①大崎電気（5勝）②立石電機山鹿（3勝2敗）③日本ビクター（3勝2敗）④シャトレーゼ（2勝1分1敗）⑤大和銀行（1勝4敗）⑥日立栃木（1分4敗）

▶2部

北国銀行 27（13—8 14—13）21 ブラザー工業

ジャスコ 24（6—4 18—12）16 ソニー国分

JUKI	27	10—11	17—6	17	ムネカタ
北国銀行	30	12—5	18—10	15	ムネカタ
ジャスコ	23	11—7	12—8	15	JUKI
ブラザー工業	28	14—7	14—8	15	ソニー国分
ブラザー工業	25	12—11	13—12	23	JUKI
ジャスコ	31	14—8	17—5	13	ムネカタ
北国銀行	29	16—10	13—9	19	ソニー国分
JUKI	20	10—9	10—11	20	ソニー国分
ジャスコ	27	14—8	13—12	20	北国銀行
ブラザー工業	32	17—7	16—7	14	ムネカタ
ジャスコ	25	15—8	10—13	21	ブラザー工業
北国銀行	30	11—15	19—12	27	JUKI
ソニー国分	28	13—5	15—7	12	ムネカタ

〔順位〕①ジャスコ（５勝）②北国銀行（４勝１敗）③ブラザー工業（３勝２敗）④JUKI（１勝１分３敗）⑤ソニー国分（１勝１分３敗）⑥ムネカタ（５敗）

第13回
日本リーグ（後期）

平成元年１月21日～３月12日
（日本各地）

〈男子〉

▶１部

日新製鋼	28	13—14	15—12	26	三陽商会
大崎電気	23	11—12	12—8	20	湧永製薬
本田技研鈴鹿	31	18—11	13—11	22	大崎電気
三陽商会	30	16—5	14—10	15	大同特殊鋼
湧永製薬	32	15—12	17—11	23	日新製鋼
本田技研鈴鹿	28	11—4	17—10	14	大同特殊鋼
湧永製薬	30	13—5	17—11	16	大同特殊鋼
本田技研鈴鹿	30	12—6	18—11	17	三陽商会
大崎電気	35	20—13	15—15	28	日新製鋼
湧永製薬	22	14—10	8—10	20	三陽商会
本田技研鈴鹿	30	17—10	13—9	19	日新製鋼

大崎電気31（16—7／15—8）15大同特殊鋼

大崎電気39（20—8／19—14）22三陽商会

日新製鋼28（15—3／13—15）18大同特殊鋼

本田技研鈴鹿20（9—7／11—9）16湧永製薬

〔リーグ総合順位〕①本田技研鈴鹿（8勝2敗）②湧永製薬（8勝2敗）③大崎電気（7勝3敗）④日新製鋼（5勝5敗）⑤三陽商会（1勝9敗）⑥大同特殊鋼（1勝9敗）

〔優勝メンバー・本田技研鈴鹿〕監督／佐々木信男　選手／大畑孝広，橋本行弘，真砂純一，福島忠一，藤井孝一，立木浩二，尾上良生，内藤裕治，粟屋敏則，小池暢男，田口隆，船谷真和，山本秀明，山村敏之，平子司。

▶2部

三景28（12—5／16—11）16大阪ガス

豊田自動織機32（15—16／17—14）30本田技研熊本

三景31（15—10／16—8）18日鉄建材

トヨタ車体21（5—7／16—12）19豊田自動織機

トヨタ自動車38（19—15／19—19）29日鉄建材

中村荷役20（8—6／12—8）14トヨタ車体

トヨタ車体26（10—8／16—15）23トヨタ自動車

豊田自動織機25（11—9／14—11）20大阪ガス

三景30（15—16／15—9）25中村荷役

本田技研熊本33（16—14／17—11）25日鉄建材

本田技研熊本28（16—12／12—13）25三景

中村荷役27（10—10／17—8）18日鉄建材

トヨタ自動車30（15—14／15—16）30豊田自動織機

大阪ガス28（15—7／13—10）17トヨタ車体

豊田自動織機29（13—13／16—12）25日鉄建材

三景28（14—5／14—9）14トヨタ車体

本田技研熊本28（13—12／15—9）21大阪ガス

トヨタ自動車26（10—10／26—15）25中村荷役

トヨタ自動車25（9—10／16—11）21大阪ガス

本田技研熊本30（13—12／17—16）28中村荷役

トヨタ車体37（18—10／19—13）23日鉄建材

三景32（10—14／22—8）22豊田自動織機

トヨタ自動車	39	18—14 21—12	26	本田技研熊本
大阪ガス	30	21—9 9—14	23	中村荷役
トヨタ車体	37	18—10 19—13	23	日鉄建材
三景	32	10—14 22—8	22	豊田自動織機
トヨタ自動車	39	18—14 21—12	26	本田技研熊本
大阪ガス	30	21—9 9—14	23	中村荷役
大阪ガス	31	15—10 16—17	27	日鉄建材
トヨタ車体	26	11—11 15—11	22	本田技研熊本
中村荷役	28	14—12 14—11	23	豊田自動織機
三景	37	17—17 20—18	35	トヨタ自動車

〔**順位**〕①トヨタ自動車（11勝１分２敗）②三景（11勝１分２敗）③トヨタ車体（８勝１分５敗）④本田技研熊本（７勝２分５敗）⑤中村荷役運輸（６勝２分６敗）⑥豊田自動織機（４勝１分９敗）⑦大阪ガス（４勝10敗）⑧日鉄建材（１勝13敗）

〈女子〉

▶１部

大和銀行	30	18—8 12—12	20	日立栃木
日本ビクター	19	9—10 10—9	19	シャトレーゼ
大崎電気	31	14—10 17—11	21	立石電機山鹿
立石電機山鹿	22	11—5 11—9	14	日立栃木
シャトレーゼ	19	7—10 12—9	19	大和銀行
大崎電気	31	20—10 11—11	21	日本ビクター
日本ビクター	23	12—12 11—6	18	日立栃木
大崎電気	33	19—11 14—10	21	シャトレーゼ
立石電機山鹿	20	10—8 10—9	17	大和銀行
日本ビクター	24	14—11 10—8	19	大和銀行
大崎電気	34	14—13 20—14	27	日立栃木
立石電機山鹿	14	8—9 6—5	14	シャトレーゼ
大崎電気	37	18—15 19—21	36	大和銀行
日本ビクター	23	8—10 15—9	19	立石電機山鹿
シャトレーゼ	22	8—8 14—9	17	日立栃木

〔**リーグ総合順位**〕①大崎電気（10勝）②日本ビクター（６勝１分３敗）③立石電機山鹿（５勝１分４敗）④シャトレーゼ（３勝４分３敗）⑤大和銀行（２勝１分７敗）⑥日立栃木（１分

9敗）

〔**優勝メンバー・大崎電気**〕監督／佐藤章治（1988年9月16日死亡），李相玉（後期から），選手／佐々木和子，宗片美智子，森田初美，松尾輝子，須永光恵，前川美弥，梅原直美，江口喜栄子，野田恭子，鈴木美佐，金玉花，福井幸代，尹秉順，香川美和，小松沢理恵

▶**2部**

JUKI	22	13—12 / 9—8	20	ムネカタ
ジャスコ	19	7—7 / 12—11	18	ソニー国分
北国銀行	20	10—10 / 10—7	17	ブラザー工業
ブラザー工業	23	10—2 / 23—8	10	ソニー国分
JUKI	24	11—12 / 13—9	21	北国銀行
ジャスコ	34	14—9 / 10—4	13	ムネカタ
北国銀行	35	16—9 / 19—6	15	ソニー国分
ジャスコ	27	16—10 / 11—12	22	JUKI
ブラザー工業	33	20—5 / 13—8	13	ムネカタ
ソニー国分	30	14—8 / 16—9	17	ムネカタ
ジャスコ	29	12—8 / 17—10	18	北国銀行
ブラザー工業	20	8—9 / 12—10	19	JUKI
北国銀行	39	19—5 / 20—8	13	ムネカタ
ブラザー工業	16	7—8 / 9—5	13	ジャスコ
JUKI	28	10—12 / 18—13	25	ソニー国分

〔**順位**〕①ジャスコ（9勝1敗）②北国銀行（7勝3敗）③ブラザー工業（7勝3敗）④JUKI（4勝1分5敗）⑤ソニー国分（2勝1分7敗）⑥ムネカタ

◆第13回日本リーグ個人記録

◇最高殊勲選手＝新設

- 男子　橋本　行弘（本田）　初
- 女子　金　玉花（大崎）　初

◇**得点王＝復活**

- 男子　西山　清（日新）　70点
- 女子　金　玉花（大崎）114点

◇最多フィールド得点

- 男子　宮下　和広（大崎）｝55点　②
- 　　　西山　清（日新）　　　　③
- 女子　金　玉花（大崎）99点　初

◇**最高シュート率**

- 男子　松岡　寛（大崎）0.662　初
- 女子　尹　秉順（大崎）0.689　初

◇**最優秀監督＝新設**

- 男子　佐々木信男（本田）
- 女子　李　相玉（大崎）

◇**最多ペナルティ獲得＝新設**

- 男子　松岡　寛（大崎）20回

・女子　根本　幸枝（日ビ）19回

◇最多ペナルティ得点

・男子　山本　興道（大崎）32点　初
・女子　長田　友子（日ビ）32点　④

◇最優秀新人＝新設

・男子　明石　康宏（大同）
・女子　比嘉　晴美（立石）

◇男子ベストセブン

・ＧＫ	橋本　行弘	（本田）	初
・ＦＰ	宮下　和広	（大崎）	②
	首藤　信一	（大崎）	③
	山本　興道	（大崎）	初
	玉村　健次	（湧永）	②
	奥田　新治	（湧永）	初
	西山　　清	（日新）	⑦

◇女子ベストセブン

・ＧＫ	小口　明子	（日ビ）	②
・ＦＰ	金　　玉花	（大崎）	②
	尹　　秉順	（大崎）	②
	松尾　輝子	（大崎）	初
	武藤夕起子	（日ビ）	③
	丸田　紀子	（大和）	③
	海道　元子	（シャ）	初

◇２部得点王

・男子　上山　和広（日鉄）100点
・女子　野田　真代（ブラ）　55点

◇同最高シュート率

・男子　山口　康照（本田）0.777
・女子　野田　真代（ブラ）0.700

◇男子１部個人得点ベストテン

①西山　　清	（日新）	70
②玉村　健次	（湧永）	62
②山村　敏之	（本田）	62
④宮下　和広	（大崎）	55
④山本　興道	（大崎）	55
⑥首藤　信一	（大崎）	54
⑦河原　隆雅	（湧永）	50
⑧浜田　雄次	（三陽）	49
⑨松岡　　寛	（大崎）	43
⑩清家　伸二	（三陽）	42

◇同シュート率ベストファイブ

①松岡　　寛	（大崎）	0.662
②砂川　正雄	（三陽）	0.594
③河原　隆雅	（湧永）	0.551
④西山　　清	（日新）	0.551
⑤武田　大伸	（日新）	0.534

◇女子１部個人得点ベストテン

①金　　玉花	（大崎）	114
②尹　　秉順	（大崎）	78
③武藤夕起子	（日ビ）	57
③丸田　紀子	（大和）	57
⑤野嶋ちえみ	（立石）	50
⑥海道　元子	（シャ）	46
⑦尾苗　裕美	（日立）	43
⑧山岸　和子	（日立）	39
⑨松尾　輝子	（大崎）	34
⑩比嘉　晴美	（立石）	32
⑩長田　友子	（日ビ）	32

◇同シュート率ベストファイブ

①尹　　秉順	（大崎）	0.698
②松尾　輝子	（大崎）	0.654
③金　　玉花	（大崎）	0.541
④武藤夕起子	（日ビ）	0.438
⑤丸田　紀子	（大和）	0.401

◇第13回日本リーグ観客動員数

全国32ヵ所　31,151名

(注)1989年1月に予定されていた「第6回オールスターゲーム」は中止

▶日本リーグ入れ替え戦

◆男子・セレクションマッチ（新加盟希望チーム対抗戦）

日本電装（愛知）33（15—11／18—12）23 竹芝精巧（京都）

◆男子2部決定戦

竹芝精巧30（16—12／14—15）27 大阪ガス（大阪）

竹芝精巧31（15—12／16—12）24 大阪ガス

竹芝精巧が2部入り

日本電装32（17—11／15—13）24 日鉄建材（大阪）

日本電装26（12—13／14—10）23 日鉄建材

日本電装が2部入り

◆男子1～2部入れ替え戦

大同特殊鋼26（14—9／12—14）23 トヨタ自動車

大同特殊鋼32（17—7／15—4）11 トヨタ自動車

大同特殊鋼は1部残留

三陽商会26（11—7／15—14）21 三景

三陽商会30（15—8／15—9）17 三景

三陽商会は1部残留

◆女子1～2部入れ替え戦

ジャスコ21（7—8／14—10）18 日立栃木

ジャスコ21（12—9／9—8）17 日立栃木

ジャスコは1部昇格

大和銀行42（22—5／20—18）23 北国銀行

大和銀行32（20—10／12—12）22 北国銀行

大和銀行は1部残留

第2回JHLカップ

男子／昭和63年9月2日～4日

女子／昭和63年6月10日～12日

▶男子東地区

▶予選リーグAブロック

大崎電気34（19—8／15—12）20 三景

大崎電気22（11—8／11—7）15 トヨタ車体

大崎電気25（13—11／12—8）19 日本電装

トヨタ車体32（11—7／21—12）19 三景

トヨタ車体20（11—7／9—10）17 日本電装

三景30（13—15／17—10）25 日本電装

〔順位〕①大崎電気②トヨタ車体③三

景④日本電装

▶予選リーグBブロック

三陽商会	26	12—6	14—11	17	大同特殊鋼
三陽商会	31	17—9	14—9	18	中村荷役
三陽商会	36	18—10	18—10	20	豊田自動織機
大同特殊鋼	25	11—6	14—8	14	中村荷役
大同特殊鋼	30	13—5	17—5	10	豊田自動織機
中村荷役	21	10—11	11—9	20	豊田自動織機

〔順位〕①三陽商会②大同特殊鋼③中村荷役④豊田自動織機

▶順位決定リーグ

三景	21	15—6	6—12	18	豊田自動織機
三景	31	16—12	15—11	23	中村荷役
豊田自動織機	24	14—8	10—7	15	日本電装
日本電装	30	13—8	17—13	21	中村荷役

※三景×日本電装，中村荷役×豊田自動織機は予選リーグの結果を適用。

▶決勝リーグ

三陽商会	24	13—11	11—4	15	トヨタ車体
大崎電気	26	14—13	12—9	22	三陽商会
大同特殊鋼	23	9—10	14—11	21	大崎電気
大同特殊鋼	35	14—8	21—7	15	トヨタ車体

※三陽×大同，大崎×トヨタは予選リーグ結果を適用。

〔順位〕①三陽商会②大崎電気③大同特殊鋼④トヨタ車体⑤三景⑥豊田自動織機⑦日本電装⑧中村荷役

〔優勝メンバー・三陽商会〕監督／関健三　選手／宇田川敏郎，吉田修，関健三，清家伸二，田口長雄，大塚智浩，砂川正雄，山口哲史，浜田雄二，実方智，安藤文人，河村徹，吉原一志。

▶男子西地区

▶予選Aブロック

湧永製薬	25	13—8	12—15	23	トヨタ自動車
湧永製薬	32	15—9	17—7	16	本田技研熊本
湧永製薬	27	12—8	15—8	16	竹芝精巧
トヨタ自動車	22	12—11	10—7	18	本田技研熊本
トヨタ自動車	21	7—11	14—10	21	竹芝精巧
本田技研熊本	27	14—10	13—11	21	竹芝精巧

〔順位〕①湧永製薬②トヨタ自動車③本田技研熊本④竹芝精巧

▶予選リーグBブロック

本田技研鈴鹿	21	10—10	11—11	21	日新製鋼

本田技研鈴鹿 34（20—3，14—1）4 日鉄建材

本田技研鈴鹿 31（16—4，15—8）12 大阪ガス

日新製鋼 34（13—5，21—10）15 日鉄建材

日新製鋼 21（11—8，10—4）12 大阪ガス

大阪ガス 20（13—9，7—9）18 日鉄建材

〔**順位**〕①本田技研熊本②日新製鋼③日鉄建材④大阪ガス

▶順位決定リーグ

本田技研熊本 31（13—8，18—10）18 大阪ガス

本田技研熊本 32（19—9，13—5）14 日鉄建材

竹芝精巧 25（11—10，14—6）16 大阪ガス

竹芝精巧 29（15—8，14—10）18 日鉄建材

※本田×竹芝，大阪ガス×日鉄は予選リーグの結果を適用。

▶決勝リーグ

本田技研鈴鹿 16（8—8，8—5）13 湧永製薬

本田技研鈴鹿 32（15—6，17—9）15 トヨタ自動車

湧永製薬 21（10—6，11—6）12 日新製鋼

日新製鋼 22（11—6，11—10）16 トヨタ自動車

※本田×日新，湧永×トヨタは予選リーグの結果を適用。

〔**順位**〕①本田技研鈴鹿②湧永製薬③日新製鋼④トヨタ自動車⑤本田技研熊本⑥竹芝精巧⑦大阪ガス⑧日鉄建材

〔**優勝メンバー・本田技研鈴鹿**〕監督／佐々木信男　選手／大畑孝広，橋本行弘，真砂純一，福原忠一，藤井孝一，立木浩二，尾上良生，内藤裕治，粟屋敏則，小池暢男，田口隆，船谷真和，山本秀明，山村敏之，平子司。

▶女子東地区

北国銀行 26（16—11，10—13）24 JUKI

日本ビクター 17（7—8，10—9）17 日立栃木

大崎電気 25（11—7，14—13）20 北国銀行

日立栃木 24（12—9，12—12）21 JUKI

日本ビクター 21（8—5，12—9）14 北国銀行

JUKI 23（11—5，12—12）17 大崎電気

日立栃木 21（10—6，11—9）15 大崎電気

日本ビクター 20（9—6，11—9）15 JUKI

北国銀行 19（11—10，8—5）15 日立栃木

日本ビクター 29（14—5，15—10）15 大崎電気

〔**順位**〕①日本ビクター②日立栃木③北国銀行④JUKI⑤大崎電気

〔**優勝メンバー・日本ビクター**〕監督／池田鉄哉　選手／小口明子，高橋陽子，武藤夕起子，長田友子，枝川文子，下篠千恵子，平松恵美子，根本幸枝，太田弥生，工藤寛美，松井栄子，永岡春江，中村好子，山之内理代。

▶女子西地区

ジャスコ	27	14—8 13—13	21	ブラザー工業
ソニー国分	18	9—10 9—8	18	大和銀行
立石電機山鹿	18	12—7 6—10	17	シャトレーゼ
シャトレーゼ	23	12—9 11—6	15	ソニー国分
ブラザー工業	24	15—10 9—7	17	大和銀行
ジャスコ	32	11—11 21—6	17	ソニー国分
立石電機山鹿	24	10—10 14—9	19	ブラザー工業
シャトレーゼ	20	8—7 12—8	15	ジャスコ
立石電機山鹿	20	13—8 7—9	17	大和銀行
立石電機山鹿	21	11—6 10—13	19	ソニー国分
シャトレーゼ	15	8—5 7—7	12	ブラザー工業
ジャスコ	25	14—8 11—10	18	大和銀行
ブラザー工業	17	9—7 8—7	14	ソニー国分
ジャスコ	21	10—12 11—7	19	立石電機山鹿
シャトレーゼ	24	15—10 9—5	15	大和銀行

〔**順位**〕①シャトレーゼ②立石電機山鹿③ジャスコ④ブラザー工業⑤大和銀行⑥ソニー国分

〔**優勝メンバー・シャトレーゼ**〕監督／李寿昶　選手／丸山房江，高原瑞恵，工藤純子，千葉輝美，星野加津美，嶋崎純子，海道元子，松沢祐子，黒沼悦子，小林喜代子，小野寺かおる，江原材枝，生方みゆき，山岸理津子，李京姫，井出典子，野沢寿恵，小俣訓子，宇宿信乃，浅田美砂

第43回
国民体育大会

昭和63年10月16日～20日
（京都・八幡市民体育館）

〈成年男子1部〉

▶1回戦

沖縄（浦添ク）	37	18—8 19—10	18	香川（讃岐ク）
大阪（大阪ク）	37	19—13 18—13	26	北海道（北海道選抜）

▶2回戦

広島（湧永製薬）	33	17—9 16—10	19	沖縄

京都（京都ク）	37	17—8 20—10	18	岩手（白亜ク）
埼玉（大崎電気）	41	23—8 28—4	12	富山（全富山）
三重（本田技研鈴鹿）	33	17—7 16—13	17	大阪

▶準決勝

広島	34	17—6 17—9	15	京都
埼玉	25	15—9 10—12	21	三重

▶3位決定戦

三重	37	22—7 15—12	19	京都

▶決勝

埼玉	31	14—12 17—11	23	広島

〔優勝メンバー・埼玉（大崎電気）〕
監督／斉藤幸司　選手／矢内浩，渡辺裕昭，松岡寛，大和田和利，武田英雄，首藤信一，中田親広，山本興道，越迫敏博，菅田信也，相馬栄司，宮下和広。

〈成年男子２部〉

▶１回戦

山口（山口県教員団）	24	12—12 12—8	20	埼玉（埼玉教員ク）
富山（全富山）	30	16—13 14—11	24	北海道（北海道選抜）
大分（大分県選抜）	29	12—11 17—11	22	宮城（東北学院大ＯＢ会）
三重（本田技研爽風会）	27	15—12 12—13	25	奈良（わかくさク）
岩手（花巻ク）	19	9—9 10—8	17	愛知（愛知選抜）
京都（京都ク）	32	20—2 12—4	9	香川（讃岐ク）
熊本（熊本教員ク）	25	13—13 12—9	22	鳥取（境港ク）
栃木（栃の葉ク）	24	13—8 11—11	19	大阪（大阪教員ク）

▶２回戦

山口	34	17—6 17—13	19	富山
三重	30	15—16 15—13	29	大分
京都	36	15—8 21—8	16	岩手
栃木	37	16—11 21—15	26	熊本

▶準決勝

三重	33	17—13 16—13	26	山口
京都	30	15—7 15—13	20	栃木

▶３位決定戦

栃木	29	15—16 14—10	26	山口

▶決勝

京都	22	8—8 14—8	16	三重

〔優勝メンバー・京都（京都ク）〕監督／小山勉　選手／山下信之，咲本薫，国府功，中村昌人，佐久間良幸，杉山徹，渡辺徹，西田充，西村純，楠本繁生，清水章，加藤英二。

〈成年女子〉

▶1回戦

愛知（ブラザー工業）	28	17—4 11—6	10	宮城（全宮城）
香川（オール香川）	15	9—5 6—8	13	福岡（全福岡）
広島（広島ク）	22	10—9 12—8	17	滋賀（滋賀選抜）
山口（徳山ク）	24	16—5 8—7	12	北海道（北海道選抜）
福島（ムネカタ）	20	11—6 9—7	13	愛媛（愛媛選抜）
石川（北国銀行）	19	8—6 11—5	11	岩手（白梅三英芙会）

▶2回戦

埼玉（大崎電気）	18	8—9 10—8	17	愛知
京都（京都ク）	39	19—4 20—7	11	新潟（新潟江南ＯＧ）
栃木（日立栃木）	28	16—5 12—7	12	香川
山梨（シャトレーゼ）	28	14—9 14—4	13	広島
熊本（立石電機山鹿）	31	20—2 14—4	10	山口
茨城（日本ビクター）	29	16—8 13—8	16	福島
三重（ジャスコ）	35	17—5 18—5	10	大分（大分選抜）
大阪（大和銀行）	26	11—11 15—7	18	石川

▶3回戦

京都	20	13—8 7—9	17	埼玉
大阪	21	10—8 11—12	20	三重
茨城	23	10—11 13—10	21	熊本
山梨	29	11—7 18—12	19	栃木

▶準決勝

山梨	24	9—10 9—8 2—0 4—0	18	京都
茨城	33	13—8 20—14	22	大阪

▶3位決定戦

京都	23	12—10 11—10	20	大阪

▶決勝

茨城	24	13—9 5—9 2—1 4—2	21	山梨

〔優勝メンバー・茨城（日本ビクター）〕監督／池田鉄哉　選手／山口明子，武藤夕起子，長田友子，枝川文子，下條千恵子，平松恵美子，根本幸枝，太田弥生，工藤寛美，中村好子，山之内理代，高橋陽子。

〈少年男子〉

▶1回戦

神奈川（全神奈川）	30	15—13 15—12	25	福岡（福岡選抜）
三重（三重選抜）	18	11—8 7—6	14	広島（広島選抜）
富山（全富山）	25	10—10 15—6	16	北海道（北海道選抜）
大阪（大阪選抜）	24	11—9 13—10	19	熊本（全熊本選抜）
東京（明星高）	22	13—9 9—11	20	愛媛（新居浜工高）
京都（京都選抜）	25	12—8 13—5	13	青森（青森）
千葉（千葉選抜）	31	15—6 16—8	14	滋賀（滋賀選抜）
愛知（愛知選抜）	20	10—7 10—11	18	沖縄（沖縄選抜）

▶2回戦

神奈川	15	7—4 8—10	14	三重
大阪	28	14—5 14—8	13	富山
京都	15	8—6 7—6	12	東京
千葉	15	6—5 9—9	14	愛知

▶準決勝

大阪	21	15—13 6—6	19	神奈川
千葉	17	8—8 9—7	15	京都

▶3位決定戦

神奈川	22	12—6 10—9	15	京都

▶決勝

大阪	22	11—5 11—13	18	千葉

〔**優勝メンバー・大阪選抜**〕監督／高橋精一　選手／吉田英晴，田端寿徳，庄司昌司，中野一隆，芝本光功，深江照泰，森岡健二，安井裕貴，溝渕隆規，池田真一，鴨谷仁，下山悟志。

〈少年女子〉

▶1回戦

神奈川（全神奈川）	22	13—5 9—7	12	熊本（熊本選抜）
滋賀（彦根商高）	19	10—9 4—5 1—1 4—1	16	静岡（静岡選抜）
京都（京都選抜）	20	11—6 9—6	12	北海道（北海道選抜）
宮城（全宮城）	16	8—7 8—7	14	愛媛（今治南高）
石川（石川選抜）	28	14—6 14—11	17	沖縄（沖縄選抜）
東京（東京少年女子）	24	11—12 13—10	22	愛知（愛知選抜）
山口（山口選抜）	15	8—2 7—9	11	福岡（福岡選抜）
埼玉（埼玉選抜）	17	8—8 9—8	16	大阪（大阪選抜）

▶2回戦

神奈川	12	8—5 4—6	11	滋賀
宮城	12	7—5 5—4	9	京都
東京	20	7—9 13—9	18	石川
山口	17	7—9 10—7	16	埼玉

▶準決勝

神奈川	20	10—9 10—5	14	宮城
東京	23	13—8 10—8	16	山口

▶3位決定戦

山口	16	10—2 6—6	8	宮城

▶決勝

東京	25	9—9 16—9	18	神奈川

〔優勝メンバー・東京選抜〕監督／楠本達彦　選手／小島美和，戸塚美千代，高橋佳未，村田明子，執印麻樹，中沢かおり，中社君江，桐谷律子，本間直美，木下恵，鷲宮忍，佐藤とも子。

第31回（女子24回）
全日本学生選手権

昭和63年11月1日～6日
（福岡・福岡市民体育館）

〈男子〉

。予選リーグ

▶A組

福岡大	29	15—11 14—14	25	大経大
国士館大	33	16—7 17—11	18	順天堂大
福岡大	28	14—9 14—10	19	国士館大
順天堂大	28	14—9 14—10	19	国士館大
順天堂大	30	12—10 18—14	24	大経大
福岡大	32	19—11 13—16	27	順天堂大
国士館大	38	22—9 16—9	18	大経大

▶B組

早稲田大	33	18—11 15—9	20	天理大
法政大	25	11—12 14—10	22	同志社大
早稲田大	30	13—14 17—14	28	法政大

天理大	23	11—10 12—11	21	同志社大
早稲田大	28	17—3 11—12	15	同志社大
法政大	29	15—9 14—14	23	天理大

▶C組

大体大	27	15—6 12—7	13	久工大
筑波大	24	11—12 13—9	21	函館大
筑波大	36	18—7 18—11	18	久工大
筑波大	28	15—8 13—9	17	大体大
函館大	29	11—14 18—9	23	久工大

▶D組

日大	32	14—11 18—9	20	京産大
中部大	26	14—8 12—15	23	日体大
日大	25	13—16 12—8	24	日体大
中部大	28	13—11 15—17	28	京産大
中部大	27	12—11 15—12	23	日大
日体大	30	14—12 16—13	25	京産大

○準決勝リーグ

▶Ｉ組

早稲田大	31	16—12 15—15	27	国士館大
福岡大	38	19—12 19—13	25	法政大
国士館大	36	13—10 23—9	19	法政大
早稲田大	28	13—11 15—10	21	福岡大

▶Ⅱ組

筑波大	20	9—9 11—7	16	日大
中部大	23	13—10 10—12	22	大体大
日大	26	11—11 15—9	20	大体大
筑波大	26	13—10 13—8	18	中部大

▶3位決定戦

福岡大	30	19—13 11—14	27	中部大

▶決勝

早稲田大	24	11—13 13—8	21	筑波大

〔優勝メンバー・早大〕監督／菅野富夫　選手／高橋克巳，須藤康弘，中嶋一成，甲斐章義，清田久雄，小林茂樹，猪田雅公，大中明徳，大橋則一，大村耕一，菰原克典，鳥平裕紀，原達朗。

▽ベストセブン

- ＧＫ　高橋　克巳（早大）　初
- ＦＰ　甲斐　章義（早大）　②

大橋　則一	（早大）	初
久保田昌俊	（筑波大）	初
田中　茂	（筑波大）	初
大坪幸之助	（福岡大）	初
塩坂　芳彦	（中部大）	初

〈女子〉

。予選リーグ

▶A組

東女体大	35	17—1 18—6	7	東海大
大体大	34	15—7 19—4	11	中京女大
東女体大	28	15—7 13—5	12	中京女大
大体大	28	14—5 14—4	9	東海大
東女体大	38	15—9 23—10	19	大体大
中京女大	24	11—9 13—6	15	東海大

▶B組

福岡大	37	15—11 22—6	17	千明短大
日女体大	24	11—8 13—8	16	大教大
福岡大	33	17—4 16—9	13	大教大
日女体大	24	12—8 12—6	14	千明短大
福岡大	23	13—10 10—11	21	日女体大
大教大	27	13—8 14—12	20	千明短大

▶C組

日体大	35	17—11 18—4	15	東学大
天理大	28	14—10 14—8	18	中京大
日体大	25	15—7 10—8	15	中京大
天理大	25	13—4 12—7	11	東学大
日体大	35	16—6 19—5	11	天理大
東学大	24	9—8 15—5	13	中京大

▶D組

武庫川女大	34	9—5 15—3	8	岩手大
筑波大	58	31—6 27—4	10	福教大
武庫川女大	44	18—7 26—4	11	福教大
筑波大	55	26—3 29—0	3	岩手大
筑波大	25	13—13 12—10	23	武庫川女大
福教大	27	11—9 16—5	14	岩手大

。準決勝リーグ

▶Ⅰ組

東女体大	29	16—7 13—9	16	日女体大

大　体　大17（9—5 / 8—10）15福　岡　大

大　体　大20（12—3 / 8—9）12日 女 体 大

東 女 体 大34（19—3 / 15—9）12福　岡　大

▶Ⅱ組

日　体　大25（13—7 / 12—11）18武庫川女大

筑　波　大29（15—8 / 14—4）12天　理　大

天　理　大24（15—11 / 9—12）23武庫川女大

筑　波　大25（9—12 / 16—10）22日　体　大

▶3位決定戦

日　体　大21（11—10 / 11—9）19大　体　大

▶決勝

東 女 体 大25（11—7 / 14—10）17筑　波　大

〔優勝メンバー・東女体大〕監督／高野亮　選手／蒔田和美，村山みどり，大村真弓，藤井直美，楠富美子，川田なるみ，佐藤真理，伝法谷芳子，鈴木里佳，竹野美夕希，田鹿アスナ，吉野佐智枝，井口京子，田島佳子，日比野雅子，本橋優子。

▽ベストセブン

・GK　村山みどり（東女体大）　初
・FP　藤井　直美（東女体大）　初
　　　楠　富美子（東女体大）　初
　　　相川　貴子（筑波大）　初
　　　中山ちはる（筑波大）　初
　　　市来　未央（日体大）　初
　　　池田　郁子（大阪体大）　初

第10回 東日本学生選手権

昭和63年8月16日〜20日
（群馬・前橋市）

〈男子〉

▶決勝トーナメント1回戦

順　天　大30（14—7 / 16—6）13函　館　大

早　　　大30（12—13 / 18—16）29法　　　大

筑　波　大32（15—10 / 17—14）24日　体　大

日　　　大26（12—10 / 14—11）21国　士　大

▶準決勝

早　　　大26（13—9 / 13—9）18順　天　大

日　　　大28（8—7 / 20—15）22筑　波　大

▶3位決定戦

筑　波　大22（12—9 / 10—10）19順　天　大

▶決勝

日　　　大27（16—12 / 11—9）21早　　　大

〈女子〉

▶準決勝（決勝トーナメント）

日体大27（14—13／13—7）20日女体大

東女体大20（8—6／12—13）19筑波大

▶3位決定戦

日女体大17（6—6／11—10）16筑波大

▶決勝

東女体大33（16—8／17—11）19日体大

第27回（女子18回）西日本学生選手権

昭和63年8月15日〜19日
（大阪府立体育館・守口市民体育館）

〈男子〉

▶準々決勝

福岡大37（21—7／16—16）23京産大

同志社大29（15—10／14—7）17東和大

中部大29（16—15／13—11）26大経大

大体大24（11—9／13—12）21天理大

▶準決勝

福岡大24（9—12／15—11）23同大

大体大28（11—7／17—9）16中部大

▶3位決定戦

同大26（12—10／14—14）24中部大

▶決勝

福岡大21（9—13／12—6）19大体大

〈女子〉

▶準決勝

武庫川大27（11—6／16—9）15天理大

福岡大20（12—6／8—8）14大体大

▶3位決定戦

天理大20（9—10／11—6）16大体大

▶決勝

武庫川大28（15—7／13—9）16福岡大

第39回
全日本高校選手権

昭和63年８月２日～７日
（兵庫・加古川市）

〈男子〉

▶１回戦

県岐阜商（岐阜）	30	11—7	19—7	14	宮崎西（宮崎）
小松明峰（石川）	27	13—10	14—12	22	古川商（宮城）
桑名（三重）	13	6—6	7—4	10	大分電波（大分）
長浜北（滋賀）	18	8—6	10—9	15	日大明誠（山梨）
市川（千葉）	25	9—5	16—7	12	盛岡一（岩手）
屋代（長野）	23	8—6	15—9	15	東岡山工（岡山）
明石北（兵庫）	31	15—8	16—15	23	吉井（群馬）
桃山学院（大阪）	19	9—2	10—5	7	聖光学院（福島）
那賀（和歌山）	25	14—9	11—12	21	高知東（高知）
中京（愛知）	20	12—7	8—6	13	函館有斗（北海道）
育英（兵庫）	31	16—11	15—10	21	神埼農（佐賀）
尾道（広島）	29	16—5	13—5	10	静岡農（静岡）
青森商（青森）	27	13—17	14—6	23	大島（鹿児島）
添上（奈良）	19	11—8	8—9	17	新潟江南（新潟）
氷見（富山）	31	19—8	12—9	17	高松商（香川）
長崎日大（長崎）	23	9—9	14—6	15	飯南（島根）

▶２回戦

横浜商工（神奈川）	36	15—9	21—11	20	県岐阜商
小松明峰	21	9—6	12—8	14	境（鳥取）
桑名	18	9—8	9—5	13	北陸（福井）
長浜北	29	14—9	15—5	14	三好農林（徳島）
久工大附（福岡）	16	8—7	8—8	15	市川
大谷（京都）	24	8—12	16—16	18	屋代
明石北	18	11—7	7—7	14	新居浜工（愛媛）
熊本市商（熊本）	18	9—4	9—11	15	桃山学院
小禄（沖縄）	23	13—8	10—9	17	那賀
中京	22	12—8	10—6	14	麻生（茨城）
育英	33	17—4	16—7	11	日大山形（山形）

尾道	21	8—4 13—9	13	国学院栃木（栃木）
岩陽（山口）	15	7—5 8—6	11	青森商
浦和学院（埼玉）	20	8—4 12—4	8	添上
氷見	27	15—10 12—7	17	湯沢（秋田）
長崎日大	12	6—6 6—3	9	明星（東京）

▶３回戦

横浜商工	25	11—8 14—5	13	小松明峰
桑名	13	6—5 7—7	12	長浜北
久留米工大付	19	11—3 8—12	15	大谷
熊本市商	34	21—6 13—9	15	明石北
小禄	21	11—9 10—11	20	中京
育英	37	13—7 24—14	21	尾道
浦和学院	15	7—7 8—6	13	岩陽
氷見	21	8—12 13—7	19	長崎日大

▶準々決勝

横浜商工	32	18—4 14—8	12	桑名
熊本市商	24	13—7 11—9	16	久留米工大附
小禄	23	11—12 7—6 3—1 2—2	21	育英
浦和学院	23	9—9 10—10 3—1 1—1	21	氷見

▶準決勝

横浜商工	25	10—9 15—9	18	熊本市商
小禄	14	9—7 5—4	11	浦和学院

▶決勝

小禄	14	8—7 6—4	11	横浜商工

〔優勝メンバー・小禄〕監督／新垣健　選手／当間剛，長嶺重信，高良武市，鳥袋勝，仲里健，永野泰生，長嶺勉，中村厳，照屋史郎，山城範年，高良尚，照屋保，奥間正，山城範仁　マネ／儀間美香。

〈女子〉

▶１回戦

佼成学園女（東京）	19	8—2 11—5	7	聖和学園（宮城）
筑紫女学園（福岡）	19	11—6 8—4	10	京都女（京都）
高松商（香川）	21	8—6 13—5	11	神埼農（佐賀）
浦和実（埼玉）	26	16—4 10—6	10	大曲農（秋田）

彦根商（滋賀）	17	9—4 / 8—2	6	暁（三重）
新潟江南（新潟）	12	4—3 / 8—5	8	本庄（宮崎）
夙川学院（兵庫）	15	6—6 / 9—3	9	山梨（山梨）
山陽女（広島）	30	16—1 / 14—6	7	粉河（和歌山）
国学院栃木（栃木）	19	12—4 / 7—8	12	国分実（鹿児島）
郡山女（福島）	22	12—4 / 10—2	6	屋代（長野）
福井商（福井）	15	8—8 / 7—4	12	佐世保北（長崎）
鈴蘭台（兵庫）	14	8—5 / 6—5	10	今治南（愛媛）
四天王寺（大阪）	17	6—9 / 11—4	13	清水西（静岡）
郡女短大付（群馬）	16	9—7 / 7—6	13	江津（島根）
岩国商（山口）	25	14—3 / 11—9	12	函大付女商（北海道）
熊本女商（熊本）	17	10—8 / 7—4	12	添上（奈良）

▶ **2回戦**

佼成学園女	21	11—7 / 10—4	11	東海女（愛知）
筑紫女学園	23	11—8 / 12—7	15	玉野光南（岡山）
高岡商（富山）	23	12—9 / 11—10	19	高松商
浦和実	29	14—5 / 15—3	8	境（鳥取）
彦根商	21	9—3 / 12—5	8	水海道二（茨城）
富岡東（徳島）	23	11—4 / 12—6	10	新潟江南
夙川学院	31	15—5 / 16—5	10	青森西（青森）
山陽女	24	11—2 / 13—0	2	小禄（沖縄）
小松市女（石川）	21	13—3 / 8—8	11	国学院栃木
郡山女	22	8—4 / 14—0	4	高知東（高知）
川崎北（神奈川）	13	7—1 / 6—3	4	福井商（福井）
鈴蘭台	10	6—6 / 4—3	9	養老女商（岐阜）
四天王寺	30	16—3 / 14—2	5	盛岡二（岩手）
佐賀関（大分）	19	10—8 / 9—6	14	群馬女短大付
岩国商	21	11—4 / 10—7	11	日大山形（山形）
昭和学院（千葉）	15	7—7 / 8—3	10	熊本女商

▶ **3回戦**

佼成学園女	16	8—8 / 8—6	14	筑紫女学園
浦和実	26	12—4 / 14—8	12	高岡商
彦根商	21	7—4 / 14—5	9	富岡東

山陽女	19	6—10 11—7 1—1 1—1 4 PTC 3	19	夙川学院
小松市女	23	11—6 12—9	15	郡山女
川崎北	16	10—6 6—7	13	鈴蘭台
四天王寺	22	6—7 16—5	12	佐賀関
昭和学院	18	13—4 5—10	14	岩国商

▶準々決勝

浦和実	17	8—6 9—9	15	佼成学園女
山陽女	20	9—4 11—8	12	彦根商
川崎北	23	12—5 11—10	15	小松市女
四天王寺	19	8—4 11—5	9	昭和学院

▶準決勝

浦和実	24	13—6 11—8	14	山陽女
川崎北	11	5—3 6—6	9	四天王寺

▶決勝

浦和実	21	13—8 10—9	19	川崎北

〔**優勝メンバー・浦和実**〕監督／山田克彦　選手／生井千恵子，行武雅代，園部薫，山口明子，地引弘子，佐藤優子，三好幸子，小形直子，長島純子，鈴木美枝子，中村美枝子　国本美香，田中和枝，仲里安子，マネ／浅田暁子。

第13回 全国高校選抜大会

平成元年３月23日～27日
（愛知・愛知県体育館）

〈男子〉

▶１回戦

市川（千葉）	17	5—9 12—5	14	市岐阜商（岐阜）
桂（京都）	17	10—4 7—8	12	下松工（山口）
明星（東京）	26	10—4 16—5	9	高松商（香川）
函館有斗（北海道南）	23	10—11 13—10	21	聖光学院（福島）
高岡向陵（富山）	35	18—12 17—17	29	岡崎城西（愛知）
小松明峰（石川）	27	14—7 13—8	15	釧路湖陵（北海道北）
正強（奈良）	33	15—2 18—12	14	清水市商（静岡）
総社（岡山）	21	12—7 9—13	20	長崎日大（長崎）
中京（愛知）	24	9—8 15—8	16	仙台育英（宮城）
上宮（大阪）	28	14—8 14—8	16	松山北（愛媛）

▶2回戦

久工大付（福岡）	24	14—14 10—9	23	市川
明星	28	13—6 15—8	14	桂
明石北	24	9—11 15—6	17	函館有斗
浦和学院（埼玉）	13	6—5 7—4	9	高岡向陵
熊本市商（熊本）	18	7—5 11—9	14	小松明峰
正強	26	12—11 14—9	20	吉井（群馬）
中京	24	13—10 5—8 2—2 4—0	20	総社
横浜商工	28	12—9 16—12	21	上宮

▶3回戦

明星	23	12—9 11—9	18	久工大付
浦和学院	19	9—10 10—6	16	明石北
熊本市商	30	14—10 16—9	19	正強
横浜商工	28	16—9 12—8	17	中京

▶準決勝

明星	21	11—10 10—9	19	浦和学院
横浜商工	21	8—9 13—8	17	熊本市商

▶決勝

明星	24	7—10 12—9 3—1 2—1	21	横浜商工

〔優勝メンバー・明星〕監督／鈴木亮一　選手／五島宏隆，梶山昌寛，小林正樹，金井勇一，遠藤琢司，田代克行，野島真樹，宍戸克行，島沢大輔，高橋直秀，田代征児，斉藤哲也，高井竜哉，佐藤誠司　マネ／菊池透。

〈女子〉

▶1回戦

西宇治（京都）	14	8—5 6—8	13	福井商（福井）
大曲農（秋田）	30	13—8 17—3	11	釧路商（北海道北）
名短付（愛知）	28	9—4 19—8	12	読谷（沖縄）
暁（三重）	26	11—6 9—14 3—2 3—2	24	高松（香川）
昭和学院（千葉）	23	11—11 12—11	22	熊毛北（山口）
函館大付（北海道南）	13	9—4 4—4	8	川口青陵（埼玉）
夙川学院（兵庫）	25	11—7 14—6	13	清水市商（静岡）
彦根商（滋賀）	18	9—4 9—2	6	本庄（宮崎）

聖和学園（宮城）20（11—7, 9—11）18 江東商（東京）

小松商（石川）22（11—3, 11—4）7 東海女（愛知）

▶2回戦

国学院栃木（栃木）24（15—6, 9—8）14 西宇治

名短付 23（9—4, 14—6）10 大曲農

熊本女商（熊本）27（14—4, 13—7）11 暁

昭和学院 18（7—8, 11—5）13 宣真（大阪）

函館大付（北海道南）15（7—5, 6—8, 1—0, 1—2）15 山陽女（広島）
5PTC4

夙川学院 24（9—5, 15—4）9 今治南（愛媛）

彦根商 20（14—4, 6—8）12 聖光学院

小松商 24（14—4, 10—12）16 明倫（神奈川）

▶3回戦

名短付 19（8—7, 8—9, 1—1, 2—0）19 国学院栃木

昭和学院 17（8—7, 8—9, 1—1, 2—0）16 熊本女商

夙川学院 18（9—4, 9—4）8 函館大付

小松商 14（9—5, 6—7, 1—0, 1—2）14 彦根商
3PTC2

▶準決勝

名短付 18（9—8, 9—7）15 昭和学院

夙川学院 8（5—3, 3—3）6 小松商

▶決勝

夙川学院 13（9—4, 4—8）12 名短付

〔優勝メンバー・夙川学院〕監督／井上亮一　選手／大林まり，松田賀寿美，平塚直子，伊藤晴美，西口貴子，新村洋子，田渕靖子，田口由味子，岡利栄，戸高綾子，江崎千鶴，巽賢子，竹下真紀，前田薫　マネ／田中美穂子。

第31回 全日本教職員選手権

昭和63年8月9日〜13日
（北海道・札幌市）

〈男子〉

▶1回戦

茨苑クラブ（茨城）38（19—6, 19—10）16 三重教員

スワロー兵庫	48	24—9 24—8	16	三河教員（愛知）
北海道教員	25	12—11 13—8	19	新潟教員
福井教員	29	10—9 12—13 3—1 4—3	26	神奈川B
岐阜教員	27	13—6 14—14	20	白亜ク（岩手）
熊本教員	31	16—10 15—14	24	石川教職員
愛知教員	22	8—7 9—10 3—1 2—3	21	神奈川教員A
茨城コンドルズ	28	13—8 15—18	26	愛媛教員
富山教職員	34	17—6 17—13	19	福島教員
静岡教員団	32	15—17 17—5	22	山形教員

▶ 2回戦

沖縄教員	19	8—5 11—8	13	茨苑クラブ
長野教員	34	15—10 19—9	19	千葉教員
大阪教員ク	27	12—13 15—7	20	宮城教員
埼玉フェニックス	30	14—10 16—12	22	スワロー兵庫
北海道教員	37	18—5 19—8	13	和歌山クラブ
滋賀教員	22	10—10 12—11	21	東京教員
福井教員	25	12—8 13—11	19	広島教職員
岐阜教員	22	12—10 10—10	20	あかぎクラブ（群馬）
大阪イーグルス	28	13—7 15—12	19	熊本教員ク
埼玉教員ク	36	17—8 19—16	24	岩手教員ク
愛知教員	26	12—7 14—12	19	わかくさクラブ（奈良）
京都教員ク	29	13—4 16—9	13	茨城コンドルズ
山口教員団	25	10—5 15—10	15	富山教員
香川教員	44	19—7 25—7	14	ポルシェクラブ（千葉）
佐賀教員・葉隠	25	12—13 13—11	24	埼玉ライオンズ
栃の葉クラブ（栃木）	39	20—10 19—3	13	静岡教員団

▶ 3回戦

長野教員	26	11—11 15—13	24	沖縄教員
埼玉フェニックス	26	12—12 14—10	22	大阪イーグルス
京都教員ク	30	14—5 16—12	17	愛知教員
山口教員団	33	17—12 16—15	27	香川教員
栃の葉ク	41	22—7 19—5	12	佐賀教員・葉隠

▶準々決勝

長野教員 25（12—10，13—8）18 埼玉フェニックス

岐阜教員 27（12—8，15—10）18 滋賀教員

埼玉教員ク 20（12—11，8—7）18 京都教員ク

栃の葉ク 28（17—8，11—9）17 山口教員団

▶準決勝

長野教員 26（13—8，13—15）23 岐阜教員

埼玉教員ク 27（10—7，17—10）17 栃の葉ク

▶3位決定戦

岐阜教員 21（11—9，10—12）21 栃の葉ク

7 PTC 6

▶決勝

埼玉教員ク 37（21—10，10—13）23 長野教員

〔**優勝メンバー・埼玉教員ク**〕監督／宮沢則夫　選手／大崎保教，宮沢則夫，田中英俊，岩本明，池田勝，山中浩，綿引智，谷井智康，野平健二郎。

▽**ベストセブン**

・GK　大崎　保教（埼玉教員ク）初
・FP　池田　勝（埼玉教員ク）初
　綿引　智（埼玉教員ク）初
　矢島富士雄（長野教員ク）初
　岩下　道範（長野教員）初
　加藤　元則（岐阜教員）初
　武斐　一浩（栃の葉）④

〈女子〉

▶1回戦

群馬教員 26（15—7，11—4）11 北海道教員

埼玉教員白小鳩 26（13—8，13—9）17 兵庫教員風見鶏ク

山口県女子教員ハンド 21（10—6，11—7）13 茨苑クラブ（茨城）

▶2回戦

京都教員 31（10—4，21—5）9 群馬教員

白梅教員（岩手）18（6—6，12—10）16 神奈川教員

埼玉教員白小鳩 31（18—3，13—8）11 千葉クラブ

愛知教員女子クラブ 23（16—7，7—9）16 山口県教員女子ハンド

▶準決勝

京都教員 35（18—4，17—5）9 白梅教員

愛知教員女子クラブ 23（9—9，14—9）18 埼玉教員白小鳩

▶3位決定戦

埼玉教員白小鳩 21（11—5，10—6）11 白梅教員

▶決勝

京都教員 28（14—8，14—6）14 愛知教員女子クラブ

〔**優勝メンバー・京都教員**〕監督／西沢金作　選手／畑添真由美，山本圭子，矢野弥生，池上由美，山戸妙子，藤田みゆき，渡辺衆子，谷坂葉子，中尾香

代，小橋阿紀，大野美加，森佳代子，多田幸。

▽ベストセブン

・GK　畑添真由美（京都教員）　初
・FP　藤田みゆき（京都教員）　④
　　　小橋　阿紀（京都教員）　初
　　　天野　優子（愛知女ク）　②
　　　富田　幸代（愛知女ク）　②
　　　石井佳代子（埼玉白小鳩）初
　　　堀米久美子（白梅教員）　初

第29回
全日本実業団選手権
（男子の部）

昭和63年６月24日～26日
（大阪・大阪市中央体育館）

▶１回戦

本田技研熊本	25	12—8 / 13—9	17	中村荷役
三陽商会	26	13—5 / 13—7	12	トヨタ自動車
日新製鋼	26	12—13 / 14—11	24	三景
トヨタ車体	23	11—7 / 12—12	19	竹芝精巧

▶２回戦

大崎電気	29	16—7 / 13—13	19	本田技研熊本
大同特殊鋼	23	12—8 / 11—7	15	三陽商会
日新製鋼	17	11—10 / 6—5	15	本田技研鈴鹿
湧永製薬	30	16—3 / 14—2	5	トヨタ車体

▶準決勝

大崎電気	27	13—9 / 14—11	20	大同特殊鋼
湧永製薬	27	13—6 / 14—8	14	日新製鋼

〈順位決定戦〉

▶１回戦

三景	22	10—8 / 12—12	20	中村荷役
トヨタ自動車	25	16—10 / 9—14	24	竹芝精巧
本田技研鈴鹿	29	15—5 / 14—8	13	本田技研熊本
三陽商会	27	13—5 / 14—8	13	トヨタ車体

▶11位決定戦

竹芝精巧	21	11—4 / 10—13	17	中村荷役

▶９位決定戦

トヨタ自動車	21	10—9 / 11—11	20	三景

▶７位決定戦

本田技研熊本	18	10—8 / 8—9	17	トヨタ車体

▶５位決定戦

本田技研鈴鹿	23	13—4 / 10—8	12	三陽商会

▶3位決定戦

大同特殊鋼 25（12—10 / 13—13）23 日新製鋼

▶決勝

湧永製薬 23（14—8 / 9—11）19 大崎電気

〔優勝メンバー・湧永製薬〕監督／服部秀人　選手／徐義輝，井藤英忠，多田恵久，酒巻清治，河原隆雄，玉村健次，堀田敬章，志賀良弘，中川英二，長沢純平，荷川取義造，奥田新治，楢原隆雄，鎌塚和彦，小崎隆。

▽ベストセブン

・GK	井藤　英忠	（湧永）	④
・FP	玉村　健次	（湧永）	②
	荷川取義浩	（湧永）	初
	奥田　新治	（湧永）	初
	河原　隆雅	（湧永）	初
	山本　興道	（大崎）	②
	宮下　和広	（大崎）	③

第29回
全日本実業団選手権
（女子の部）

昭和63年5月13日～15日
（愛知・半田市体育館）

▶1回戦

JUKI 27（15—9 / 12—15）24 ソニー国分

ジャスコ 27（12—7 / 15—6）13 北国銀行

大和銀行 17（9—8 / 8—5）13 日本ビクター

ブラザー工業 33（19—4 / 14—4）8 ムネカタ

▶2回戦

大崎電気 34（21—9 / 13—15）24 JUKI

ジャスコ 25（11—11 / 11—11 / 1—2 / 2—1）25 日立栃木
2PTC0

大和銀行 22（12—9 / 10—11）27 立石電機山鹿

シャトレーゼ 25（12—6 / 13—12）18 ブラザー工業

▶敗者復活戦

日本ビクター 34（19—5 / 15—4）9 ソニー国分

北国銀行 28（12—5 / 16—9）14 ムネカタ

立石電機山鹿 24（12—6 / 12—8）14 JUKI

日立栃木 26（14—7 / 12—6）13 ブラザー工業

▶準決勝

大崎電気 37（19—12 / 18—12）24 ジャスコ

大和銀行 26（14—8 / 8—14 / 3—2 / 1—2）26 シャトレーゼ
2PTC1

▶11・12位決定戦

ソニー国分 23（13—7、10—14）21 ムネカタ

▶9・10位決定戦

日本ビクター 28（14—11、14—8）19 北国銀行

▶7・8位決定戦

JUKI 25（13—10、12—8）18 ブラザー工業

▶5・6位決定戦

立石電機山鹿 22（9—12、13—6）18 日立栃木

▶3・4位決定戦

シャトレーゼ 22（8—11、14—6）17 ジャスコ

▶決勝

大崎電気 37（22—12、15—15）27 大和銀行

〔優勝メンバー・大崎電気〕監督／佐藤章治　選手／佐々木和子，宗片美智子，森田初美，松尾輝子，須永光恵，前川美弥，梅原直美，江口喜栄子，野田恭子，鈴木美佐，金玉花，福井幸代，尹秉順，香川美和，小松沢里恵。

▽ベストセブン

・GK	増見	美果（大和）	初
・FP	金	玉花（大崎）	②
	尹	秉順（大崎）	②
	松尾	輝子（大崎）	初
	丸田	紀子（大和）	初
	王	凱萍（ジャ）	初
	海道	元子（シャ）	②

第20回全日本実業団トーナメント大会

平成元年2月10日～12日
（大阪・大阪府立体育館）

▶1回戦

三景 26（13—2、13—9）11 興亜石油

アイシン精機 不戦勝 自衛隊勝田

新日鉄大分 25（13—12、12—10）22 日本耐酸壜

日鉄建材 34（19—8、15—6）14 三井石化

セントラル自動車 35（15—7、20—5）12 北陸電力

JUKI 28（12—9、16—8）17 住友金属和歌山

コスモ石油 26（11—13、15—10）23 新日鉄名古屋

本田技研爽風会 30（15—4、15—7）11 山陽国策パルプ

中村荷役 35（16—5、19—7）12 三和銀行

出雲千葉 30（16—10、14—9）19 神戸製鋼

大阪ガス 39（18—5、21—10）15 日本原子力

日本電装 25（20—9、5—11）20 徳山曹達

豊田自動織機 30（14—9／16—9）18 自衛隊久里浜

日本発条 17（7—8／10—8）16 金沢市役所

ワールド 27（14—11／13—9）27 NKK福山

竹芝精巧 26（16—9／10—9）18 豊田合成

▶ 2 回戦

三景 34（14—12／20—8）20 アイシン精機

日鉄建材 29（17—7／12—10）14 新日鉄大分

セントラル自動車 23（10—9／13—7）16 JUKI

本田技研爽風会 40（25—4／15—8）12 コスモ石油

中村荷役 37（19—6／18—7）13 出雲千葉

日本電装 21（10—8／11—10）18 大阪ガス

豊田自動織機 24（11—5／13—14）19 日本発条

▶ 3 回戦

三景 34（17—10／17—8）18 日鉄建材

本田技研爽風会 27（10—11／17—12）22 セントラル自動車

日本電装 28（10—16／18—8）24 中村荷役

竹芝精巧 25（12—13／13—11）24 豊田自動織機

▶ 準決勝

本田技研爽風会 30（15—15／11—11／2—2／2—1）19 三景

日本電装 27（12—11／15—15）26 竹芝精巧

▶ 3 位決定戦

竹芝精巧 30（13—16／17—12）28 三景

▶ 決勝

本田技研爽風会 38（20—12／18—13）25 日本電装

〔優勝メンバー・本田技研爽風会〕監督／玉井良明　選手／三宅敏之，平山道昭，香西武彦，弥吉圭一，関根和彦，平松茂雄，東耕二，松下義文，山下正，金沢成和，高木俊明。

第17回 全国中学校大会

昭和63年８月21日～24日
（福島・福島市）

〈男子〉

▶ 1 回戦

東陵（愛知）21（10—8／11—7）15 板津（石川）

松橋（熊本）26（13—7／13—10）17 朝霞五（埼玉）

香川一（香川）20（8—7／12—4）11 内郷一（福島）
大体大附（大阪）21（9—6／12—12）18 深浦（山口）
国立一（東京）23（12—4／11—5）9 操山（岡山）
小部（兵庫）22（12—7／10—7）14 笹川（三重）
信夫（福島）18（10—2／8—5）7 湯川（北海道）
浦添（沖縄）23（11—6／12—6）12 氷見南部（富山）

▶ 2回戦

松橋18（9—7／9—8）15東陵
大体大附21（8—8／13—6）14香川一
小部20（7—5／13—5）10国立一
浦添23（12—4／11—10）14信夫

▶準決勝

松橋24（12—7／12—8）15大体大附
浦添25（6—7／10—9／4—2／5—2）20小部

▶決勝

松橋23（9—11／14—8）19浦添

〔優勝メンバー・松橋中〕監督／平井徳一　選手／米村敬，鶴崎博之，大野敬，氏原智巨，岩崎直人，村上智宏，増田光信，古賀貴，平井昌徳，山口英樹，森山透，岩崎雅英，米満政佳，岩永裕樹，斉藤靖典。

〈女子〉

▶ 1回戦

富山（岡山）10（3—1／7—4）5 西笹川（三重）
小杉（富山）20（9—7／11—10）17 都呂々（熊本）
二瀬（福島）21（8—2／13—3）5 青葉（北海道）
西中原（神奈川）26（11—9／15—9）18 上町（大阪）
明野（大分）17（6—6／11—6）12 玖珂（山口）
牧の池（愛知）16（9—4／7—11）15 岩井南（茨城）
山田（香川）24（11—7／13—11）18 中田（宮城）
大瀬（奈良）16（5—5／11—5）10 御幸（石川）

▶ 2回戦

富山18（10—10／8—7）17小杉
西中原26（15—4／11—10）14二瀬
明野12（5—2／7—6）8牧の池
大瀬21（14—9／7—6）15山田

▶準決勝

西中原 21（10—10, 11—6）16 富山

明野 16（6—6, 10—5）11 大瀬

▶決勝

明野 18（10—6, 8—7）13 西中原

〔優勝メンバー・明野中〕監督／幸政則　選手／遠竹純子，前川久美子，実川和美，甲斐万起子，古宅東華，児玉美保，清水美妃，森山陽子，三浦智美，酒田志穂，木原彩，吉永江里子，長田京子，松本麻記，足立容子。

第15回 全国高専選手権

昭和63年８月６日～７日
（熊本・県立体育館）

▶１回戦

大阪府立 24（17—3, 7—9）12 秋田

富山 21（9—3, 12—7）10 東京

和歌山 27（11—10, 16—10）20 岐阜

▶２回戦

大阪府立 22（12—4, 10—10）14 桐蔭学園

富山 27（12—7, 15—8）15 北九州

呉 36（13—12, 23—18）30 豊田

八代 25（9—8, 16—14）22 和歌山

▶準決勝

富山 19（10—5, 9—10）15 大阪府立

八代 22（10—13, 12—5）18 呉

▶決勝

八代 21（9—7, 12—6）13 富山

〔優勝メンバー・八代〕監督／山口一郎　選手／木下武大，井上保輔，守谷泰範，上村康範，園田憲作，内村友重，蒲原新一，丸塚商司，山田貴光，池田清二，田中誠治，平野和彦，堀内敏光，城本政一。

第８回 全国クラブ選手権

昭和63年８月13日～15日
（愛媛・総合運動公園体育館、松山市総合コミュニティセンター体育館）

〈男子〉

▶予選リーグ

○Ａゾーン

大同ク（愛知）19（7—7, 12—5）12 ラージェスト（東京）

大同ク	24	13—6 11—7	13	生駒ク（奈良）
ラージェスト	14	7—6 7—7	13	生駒ク

○Bゾーン

東山クA（京都）	21	10—5 11—13	18	讃岐ク（香川）
東山クA	25	12—10 13—18	18	徳山ク（山口）
讃岐ク	19	9—5 10—10	15	徳山ク

○Cゾーン

富岡ク（群馬）	18	8—8 10—2	10	県和商ク（和歌山）
富山ク	21	10—8 11—8	16	松山ク
県和商ク	27	11—4 16—7	11	松山ク

○Dゾーン

氷見ク（富山）	25	14—9 11—10	19	七戸ユニオン（青森）
氷見ク	28	9—4 19—11	15	清商ク（静岡）
七戸ユニオン	27	11—7 16—8	15	清商ク

○Eゾーン

日川ク（山梨）	28	12—7 16—7	17	はまなすク（北海道）
日川ク	29	14—8 15—8	16	下関ク（山口）
はまなすク	20	8—12 12—6	18	下関ク

○Fゾーン

本田ク（三重）	16	10—8 6—6	14	小松ク（石川）
本田ク	22	12—8 10—9	17	IHク（神奈川）
小松ク	20	11—2 9—9	11	IHク

○Gゾーン

桜門ク（東京）	20	8—12 12—6	18	高知ク（高知）
桜門ク	20	9—5 11—6	11	盛岡商友会（岩手）
高知ク	18	9—2 9—6	8	盛岡商友会

○Hゾーン

浦添ク（沖縄）	18	7—10 11—8	18	境港ク（鳥取）
浦添ク	26	15—6 11—8	14	ボンチフェローズ（大阪）
境港ク	23	12—9 11—8	17	ボンチフェローズ

▶決勝トーナメント・1回戦

高知ク	24	14—9 10—9	18	東山ク
氷見ク	22	9—8 13—9	17	はまなすク
本田ク	29	14—5 15—10	15	県和商ク
浦添ク	32	18—9 14—8	17	ラージェスト
大同ク	24	13—5 11—10	15	境港ク

小松ク	21	10—7 11—11	18	富岡ク
日川ク	24	11—8 13—12	20	七戸ユニオン
桜門ク	29	16—8 13—13	21	讃岐ク

▶２回戦

大同ク	26	14—5 12—9	14	高知ク
氷見ク	23	10—10 13—10	20	小松ク
本田ク	21	9—10 12—8	18	日川ク
浦添ク	28	17—13 11—8	21	桜門ク

▶準決勝

氷見ク	22	11—10 11—7	17	大同ク
浦添ク	19	10—9 9—8	17	本田ク

▶決勝

浦添ク	27	15—11 12—11	22	氷見ク

〔優勝メンバー・浦添クラブ〕監督／新垣健　選手／高良靖，高良毅，黒島宜明，上原尚，名嘉賢雄，新垣志信，宮城剛，上原健，東江一二，新里泰司，喜舎場淳一，東江正作，比嘉勉，宮里隆二，宮城靖。

〈女子〉

▶予選リーグ

○イ・ゾーン

あゆみク（三重）	9	2—3 7—4	7	小松ク（石川）

○ロ・ゾーン

滋賀ク（滋賀）	16	8—5 8—5	10	OHB・MIZ（大分）
滋賀ク	14	8—4 6—7	11	日川ク（山梨）
OHB MIZ	22	11—2 11—9	11	日川ク

○ハ・ゾーン

天城ク（群馬）	14	10—2 4—4	6	今治南ク（愛媛）
天城ク	13	8—2 5—7	9	東京女子（東京）
今治南ク	12	5—7 7—4	11	東京女子

○ニ・ゾーン

広島ク（広島）	13	7—6 6—6	12	オール香川（香川）
広島ク	21	8—6 13—1	7	緑商ク（愛知）
オール香川	14	7—1 7—5	6	緑商ク

○ホ・ゾーン

全福岡（福岡）	18	9—5 9—3	8	徳山ク（山口）
全福岡	14	9—2 5—2	4	オレンジク（栃木）

徳山ク 16（7—2／9—2）4 オレンジク

▶決勝トーナメント・1回戦

OHB MIZ 22（10—7／8—11／1—1／3—2）21 徳山ク

小松ク 14（9—6／5—5）11 今治南ク

▶2回戦

広島ク 17（6—7／11—7）14 天城ク

オール香川 11（5—5／6—5）10 滋賀ク

OHB MIZ 16（7—6／9—6）12 あゆみク

全福岡 16（8—1／8—5）6 小松ク

▶準決勝

広島ク 22（10—8／12—8）16 OHB MIZ

全福岡 11（5—4／6—2）6 オール香川

▶決勝

全福岡 17（9—2／8—8）10 広島ク

〔優勝メンバー・全福岡〕監督／水上秀憲　選手／上野真木子，沢辺彰子，今村理子，松田弘子，薮田典子，妹川須美子，田中章子，尾木清美，田口恵美子，橋本佳子，長沢小百合，篠崎規子，横瀬かほる。

第1回
全国小学生大会
昭和63年8月18日～20日
（京都府田辺町）

〈男子〉

▶1回戦

八代スポ少（富山）11（7—1／4—4）5 守谷クA（茨城）

三角東小（熊本）14（8—0／4—1）1 真弓ク（奈良）

大宮北小（栃木）9（3—6／6—2）8 小林小スポ少（宮崎）

和歌山市HB教室（和歌山）13（9—3／4—6）9 瀬戸オールスターズ（岡山）

▶2回戦

沢岻ク（沖縄）12（4—2／8—5）7 八代スポ少

貞教HB教室（京都）6（2—4／4—1）5 愛知HB教室（愛知）

田辺町選抜（京都）15（7—1／8—3）4 岩手大附小（岩手）

三角東小 21（11—2／10—1）3 向島南小（京都）

大宮北小 14（7—2／7—2）4 貝塚バーディーズ（大阪）

八幡市選抜（京都）11（3—6／8—2）8 三重選抜（三重）

田辺東小（京都）10（7—4／3—5）9 王子保HBク（福井）

守谷クB（茨城）	10	3—3	7—2	5	和歌山市HB教室（和歌山）

▶3回戦

沢岻ク	20	10—2	10—1	3	貞教HB教室
三角東小	19	12—1	7—6	7	田辺町選抜
大宮北小	15	5—2	10—3	5	八幡市選抜
田辺東小	19	11—3	8—9	12	守谷クB

▶準決勝

三角東小	17	7—2	10—5	7	沢岻ク
田辺東小	12	7—3	5—3	6	大宮北小

▶3位決定戦

沢岻ク	14	8—5	6—7	12	大宮北小

▶決勝

三角東小	17	6—0	11—8	8	田辺東小

〔優勝メンバー・三角東小〕監督／田口敏治　選手／波村大悟，山下隼人，岩崎崇，井場友和，宮田省二，波村光，池田大輔，松島義輝，内田耕人，内田伸彦，千原誠児，中田，洲崎悦生，松波朝憲。

〈女子〉

▶1回戦

網津小（熊本）	20	11—5	9—2	7	大宮北小（栃木）
愛知HB教室（愛知）	18	12—9	6—6	15	真弓ク（奈良）
田辺小（京都）	7	4—0	3—1	1	瀬戸オールスターズ（岡山）
守谷クA（茨城）	13	6—5	7—2	7	小林小スポ少（宮崎）
八幡市選抜（京都）	8	6—1	2—2	3	笠松スポ小（岐阜）
三佐ク（大分）	27	15—0	12—0	0	守谷クB（茨城）
窪スポ少（富山）	24	13—1	11—0	1	向島南小（京都）
沢岻ク（沖縄）	27	10—1	17—0	1	三重選抜（三重）

▶2回戦

網津小	22	10—1	12—2	3	愛知HB教室
守谷クA	16	7—2	9—3	5	田辺小
三佐ク	15	13—0	12—2	2	八幡市選抜
沢岻ク	11	5—4	6—6	10	窪スポ少

▶準決勝

網津小	12	7—4	5—1	5	守谷クA
三佐ク	15	9—2	6—3	5	沢岻ク

▶3位決定戦

沢岻ク	11	8—3	3—3	6	守谷クA

▶**決勝**

三　佐　ク 9 (4—3 / 5—3) 6 綱　津　小

〔**優勝メンバー・三佐ク**〕監督／松井光　選手／小野彩香，上野亜香利，赤山祐美，清水好美，池永麻樹，石崎元子，法華津安曇野，阿部しず代，高橋加奈子，釘宮志帆，阿部加奈子，河村みはる，山口枝里，工藤美香，菅しのぶ，山口裕子，上野真弓，徳田，重松正恵。

ブロック・チャンピオンズ

◇第28回北海道総合室内選手権

・男　北海道大

・女　北海道選抜

◇第25回東北総合室内選手権

・男　白亜クラブ（岩手）

・女　聖和学園高（宮城）

◇第35回関東選手権（男子のみ）

大崎電気（埼玉）

◇第40回東海選手権

・男　本田技研鈴鹿（三重）

・女　ジャスコ（三重）

◇第28回東海室内選手権

・男　本田技研鈴鹿（三重）

・女　ブラザー工業（愛知）

◇第33回中国一般選手権

・男　湧永製薬（広島）

・女（第16回）　広島クラブ（広島）

◇第38回四国選手権

・男　讃岐クラブ（香川）

・女　オール香川（香川）

◇第24回九州一般男子選手権

浦添クラブ（沖縄）

◇第27回（女子第8回）五大都市体育大会

・男　京　　都

・女　京　　都

昭和63年度地域国体

◇北海道

・成年男子　北海道学生選抜

　　　女子　上磯クラブ

・少年男子　函館選抜

　　　女子　函館選抜

◇東北

・成年男子Ⅰ　白亜クラブ（岩手）

　　　男子Ⅱ　東北学院大ＯＢ（宮城）

　　　女子　ムネカタ（福島）

・少年男子　全青森（青森）

　　　女子　全宮城（宮城）

◇北信越

・成年男子Ⅰ　全富山（富山）

　　　男子Ⅱ　全富山（富山）

　　　女子　北国銀行（石川）

・少年男子　全富山（富山）

　　　女子　石川選抜（石川）

◇関東（勝者決定は1部門のみ）

・成年男子Ⅰ　大崎電気（埼玉）

◇東海

• 成年男子Ⅰ　本田技研鈴鹿（三重）
　　男子Ⅱ　本田爽風会（三重）
　　女子　ジャスコ（三重）
• 少年男子　愛知選抜（愛知）
　　女子　愛知選抜（愛知）

◇近畿

• 成年男子Ⅰ　大阪クラブ（大阪）
　　男子Ⅱ　大阪教員クラブ（大阪）
　　女子　大和銀行（大阪）
• 少年男子　大阪選抜（大阪）
　　女子　大阪選抜（大阪）

◇中国

• 成年男子Ⅰ　湧永製薬（広島）
　　男子Ⅱ　山口県教員団（山口）
　　女子　徳山クラブ（山口）
• 少年男子　広島選抜（広島）
　　女子　山口選抜（山口）

◇四国

• 成年男子Ⅰ　讃岐クラブ（香川）
　　男子Ⅱ　讃岐クラブ（香川）
　　女子　オール香川（香川）
• 少年男子　新居浜工高（愛媛）
　　女子　今治南高（愛媛）

◇九州

• 成年男子Ⅰ　浦添クラブ（沖縄）
　　男子Ⅱ　大分選抜（大分）
　　女子　立石電機山鹿（熊本）
• 少年男子　熊本選抜（熊本）
　　女子　熊本選抜（熊本）

各地学生リーグ

◇北海道

• 春季男　函 館 大
　　女　北海道教大旭川
• 秋季男　函 館 大
　　女　北海道教大旭川

◇東北

• 春季男　岩 手 大
　　女　東北福祉大
• 秋季男　東北学院大
　　女　東北福祉大

◇北信越

• 春季男　金 沢 大
　　女　富 山 大
• 秋季男　金 沢 大
　　女　富 山 大
• 北信越学生選手権（第14回）
　　男
　　女

◇関東

• 春季男　日　　大
　　女　筑 波 大
• 秋季男　筑 波 大
　　女　筑 波 大

◇東海

• 春季男　中 部 大
　　女　中京女大
• 秋季男　中 部 大
　　女　中京女大

◇関西

春季男　大阪体大

女　武庫川女大
・秋季男　大阪経大
女　大阪体大

◇中四国
・春季男　山口大
女　広島大
・秋季男　広島大
女　岡山県立短大

◇九州学生選手権
・男（第26回）　福岡大
・女（第13回）　福岡大

各地域高校選手権

◇第39回北海道
・男　函館大有斗
・女　函館女商

◇第41回東北
・男　聖光学院（福島）
・女　大曲農（秋田）

◇第24回北信越
・男　高岡向陵（富山）
・女　小松市女（石川）

◇第34回関東
・男　横浜商工（神奈川）
・女　昭和学院（千葉）

◇第35回東海
・男　中京（愛知）
・女　清水西（静岡）

◇第31回近畿
・男　此花学院（大阪）
・女　四天王寺（大阪）

◇第39回中国
・男　岩陽（山口）
・女　岩国商（山口）

◇第37回四国
・男
・女

◇第38回九州
・男　熊本市商（熊本）
・女　熊本女商（熊本）

各地域中学校大会

◇第17回北海道
・男
・女

◇第17回東北
・男
・女

◇第９回北信越
・男
・女

◇第17回関東
・男　国立一（東京）
・女　西中原（神奈川）

◇第19回東海
・男　東陵（愛知）
・女　牧の池（愛知）

◇第37回近畿
・男　小部（兵庫）
・女　大瀬（奈良）

◇第16回中国
・男　深浦（山口）
・女　富山（岡山）

◇第17回四国

・男　香 川 一（香川）

・女　山　　田（香川）

◇第17回九州

・男　松　　橋（熊本）

・女　明　　野（大分）

各地域実業団選手権

◇第13回関東

・男　三陽商会（東京）

・女（第５回）大崎電気（埼玉）

◇第24回東海

・男　本田技研鈴鹿（三重）

・女　ブラザー工業（愛知）・ジャスコ（三重）

各地域クラブ選手権

◇第11回東北

・男　花巻クラブ（岩手）

・女　全和洋クラブ（秋田）

◇第18回関東

・男　日川クラブ（山梨）

・女　日川クラブ（山梨）

◇第19回東海

・男　大同クラブ（愛知）

・女　ジャスコあゆみクラブ(三重)

◇第18回近畿

・男

・女

◇第17回九州（女子のみ）

全 福 岡（福岡）

1988年度

国 際 大 会 成 績

ソウル・オリンピック
〜男子〜

〔1988年９月20日〜
10月１日・スーウオン〕

・予選リーグ１組

ソ　　連	24—18	ユ　ー　ゴ
スウェーデン	21—18	アルジェリア
アイスランド	22—15	ア メ リ カ
ユ　ー　ゴ	31—23	ア メ リ カ
ソ　　連	22—18	スウェーデン
アイスランド	22—16	アルジェリア
ユ　ー　ゴ	23—22	アルジェリア
スウェーデン	20—14	アイスランド
ソ　　連	26—14	ア メ リ カ
アイスランド	19—19	ユ　ー　ゴ
スウェーデン	27—11	ア メ リ カ
ソ　　連	26—13	アルジェリア
アルジェリア	20—17	ア メ リ カ
ソ　　連	32—19	アイスランド
ユ　ー　ゴ	25—21	スウェーデン

〔順位〕①ソ連②ユーゴ③スウェーデン④アイスランド⑤アルジェリア⑥アメリカ

・同２組

韓　　国	22—20	ハンガリー
東ドイツ	25（14—10 11—8）18	日　　本
チ ェ コ	20—17	スペイン
チ ェ コ	19—16	ハンガリー
韓　　国	23—22	東ドイツ
スペイン	25（13—5 12—14）19	日　　本
ハンガリー	22（10—11 12—8）19	日　　本
東ドイツ	21—20	スペイン
韓　　国	29—28	チ ェ コ
ハンガリー	26—16	スペイン
東ドイツ	24—21	チ ェ コ
韓　　国	33（18—11 15—13）24	日　　本
チ ェ コ	21（13—7 8—10）17	日　　本
スペイン	23—20	韓　　国

ハンガリー　18—17　東ドイツ

〔順位〕①韓国②ハンガリー③チェコ④東ドイツ⑤スペイン⑥日本（25％ルール適用）

・11～12位決定戦

日本	24	8—11 16—10	21	アメリカ

・9～10位決定戦

スペイン	21	11—6 10—9	15	アルジェリア

・7～8位決定戦

東ドイツ	28	12—13 11—10 延長 1—1 1—1 延長 2—1 1—2	28	アイスランド

3PTC1

・5～6位決定戦

スウェーデン	27	14—8 13—10	18	チェコ

・3～4位決定戦

ユーゴ	27	12—13 15—10	23	ハンガリー

・決勝戦（ソウル・オリンピック公園大ホール）

ソ連	32	17—11 15—14	25	韓国

〔優勝メンバー・ソ連〕監督／エウトシエンコ　選手／・GKチュマク，ラフロフ，ドロシエンコ，・FPツチキン，リマノフ，カルシャケビッチ，ネステロフ，スビリデンコ，ゴピン，チュメンゼフ，バシエリフ，シエフゾクアタヴィン，ノビッキー，シャロバロフ。

〔日本代表〕監督／野田清　コーチ／津川昭　選手／・GK井藤英忠，矢内浩，橋本行弘，・FP西山清，山本輿道，玉村健次，荷川取義浩，首藤信一，藤井泉，高村誠一，立木浩二，田口隆，宮下和広，奥田新治，山村敏之。JOC派遣コーチ／佐藤要二，同補助役員／塙敏。

〔個人得点ベストテン〕

①姜　在源（韓国）	49
②ボルシヤルト（東ドイツ）	42
③玉村　健次（日本）	34
④アラソン（アイスランド）	33
⑤李　相孝（韓国）	31
イバンクチク（ハンガリー）	31
ポルトナー（ユーゴ）	31
⑦マロシ（ハンガリー）	30
⑧ブヨビッチ（ユーゴ）	29
ツチキン（ソ連）	29
⑨ゴス（アメリカ）	28
山村敏之（日本）	28
⑩金　哉奐（韓国）	27

〔歴代オリンピック・メダリスト〕

・1936（ベルリン，11人制）①ドイツ②オーストリア③スイス

・1972（ミュンヘン）①ユーゴ②チェコ③ルーマニア　※日本11位

・1976（モントリオール）①ソ連②ル

ーマニア③ポーランド　※日本９位

• 1980（モスクワ）①東ドイツ②ソ連③ルーマニア

• 1984（ロサンゼルス）①ユーゴ②西ドイツ③ルーマニア　※日本10位

ソウル・オリンピック 〜女子〜

〔1988年９月21日〜９月29日・スーウオン〕

◇予選リーグ・１組

韓国	33—27	チェコ
ユーゴ	19—18	アメリカ
チェコ	33—19	アメリカ
ユーゴ	22—19	韓国
韓国	24—18	アメリカ
チェコ	21—17	ユーゴ

〔順位〕①韓国②ユーゴ③チェコ④アメリカ（25％ルール適用）

• ２組

ソ連	24—19	中国
ノルウェー	34—14	コート・ジボアール
ソ連	33—19	コート・ジボアール
ノルウェー	22—20	中国
中国	37—12	コート・ジボアール
ソ連	19—19	ノルウェー

〔順位〕①ソ連②ノルウェー③中国④コート・ジボアール（25％ルール適用）

• ５〜８位決定リーグ

中国	31—22	アメリカ
チェコ	34—12	コート・ジボアール
アメリカ	27—16	コート・ジボアール
チェコ	26—21	中国

〔順位〕⑤チェコ⑥中国⑦アメリカ⑧コート・ジボアール

• 決勝リーグ

韓国	23—20	ノルウェー
ソ連	18—15	ユーゴ
韓国	21—19	ソ連
ノルウェー	20—15	ユーゴ

〔順位〕①韓国②ノルウェー③ソ連④ユーゴ

〔優勝メンバー・韓国〕監督／高丙勲　選手／• ＧＫ孫美娜，金栄淑，宋芝賢，• ＦＰ金明順，金春礼，金賢美，李基順，奇美淑，李美英，成京花，金京純，石旼熹，任美璟，朴炫淑，韓玄淑。

〔個人得点ベストテン〕

①孫　秀蘭（中国）	36
②ジョーンズ（アメリカ）	35
③何　剣萍（中国）	26
④キルスチク（ソ連）	25
⑤金　春礼（韓国）	24
デュリシノーバ（チェコ）	24
⑥ガリッチ（ユーゴ）	22
⑦ミットフン（ノルウェー）	21
陳　珍（中国）	21
クラーモ（コート・ジボアール）	21
⑧金　賢美（韓国）	20
⑨ルパコーバ（チェコ）	18
成　京花（韓国）	18
スティーン（ノルウェー）	18
⑩ジガンコーワ（ソ連）	17

〔歴代オリンピックメダリスト〕
•1976（モントリオール）①ソ連②東ドイツ③ハンガリー　※日本5位
•1980（モスクワ）①ソ連②ユーゴ③東ドイツ
•1984（ロサンゼルス）①ユーゴ②韓国③中国

第7回世界男子選手権 Bグループ

〔1989年2月15日～28日・パリほか〕

•予選リーグ1組

デンマーク	27—19	エジプト
ポーランド	26—23	キューバ
デンマーク	27—23	キューバ
ポーランド	32—17	エジプト
キューバ	25—17	エジプト
ポーランド	26—24	デンマーク

•2組

フランス	27—18	イスラエル
オーストリア	22—20	スペイン
スペイン	21—19	イスラエル
フランス	21—14	オーストリア
イスラエル	21—18	オーストリア
スペイン	19—18	フランス

•3組

ルーマニア	25—16	クウェート
アイスランド	20—12	ブルガリア
アイスランド	32—14	クウェート
ルーマニア	25—21	ブルガリア
ブルガリア	22—18	クウェート
ルーマニア	23—21	アイスランド

•4組

スイス	22—16	オランダ
西ドイツ	22—17	ノルウェー
西ドイツ	26—14	オランダ
スイス	22—18	ノルウェー
スイス	18—17	西ドイツ
オランダ	24—21	ノルウェー

•準決勝リーグA組

フランス	21—14	キューバ
ポーランド	30—15	イスラエル
スペイン	28—22	デンマーク
キューバ	31—19	イスラエル
ポーランド	27—21	スペイン
フランス	23—21	デンマーク
デンマーク	32—17	イスラエル
スペイン	28—20	キューバ
ポーランド	27—24	フランス

〔順位〕①ポーランド②スペイン③フランス④デンマーク⑤キューバ⑥イスラエル

•B組

アイスランド	23—21	西ドイツ
スイス	24—20	ブルガリア
ルーマニア	36—22	オランダ
西ドイツ	23—21	ルーマニア
ブルガリア	33—26	オランダ
アイスランド	19—18	スイス
西ドイツ	25—13	ブルガリア
アイスランド	31—17	オランダ
ルーマニア	16—16	スイス

〔順位〕①アイスランド②ルーマニア

③スイス④西ドイツ⑤ブルガリア⑥オランダ

• 13～16位決定リーグ

エジプト	25—23	クウェート
ノルウェー	29—20	オーストリア
オーストリア	20—20	クウェート
ノルウェー	34—27	エジプト
オーストリア	29—19	エジプト
ノルウェー	29—22	クウェート

〔**順位**〕⑬ノルウェー⑭オーストリア⑮エジプト⑯クウェート

• 11～12位決定戦

オランダ　28—26　イスラエル

• 9～10位決定戦

キューバ　30—29　ブルガリア

• 7～8位決定戦

デンマーク30（12—11 / 18—13）24西ドイツ

• 5～6位決定戦

フランス19（10—8 / 9—5）13スイス

• 3～4位決定戦

ルーマニア31（12—10 / 19—14）24スペイン

• 決勝戦

アイスランド29（15—13 / 14—13）26ポーランド

〔**優勝メンバー・アイスランド**〕監督／コワルチャク　選手／•GKソルバルダルソン，フラフケルソン，マルゲイルソン，•FPマッティエセン，J・シグルドソン，B・シグルドソン，ギスラソン，シゲルドセン，アラソン，ギルソン，ジョナソン，グリムソン，グンナルソン，グッドムンドソン，G・スベインソン，S・スベインソン。

〔**個人得点ベストテン**〕

①Z・ツルジンスキー（ポーランド）42
　メイヤー（スイス）42
③ラスミューゼン（アイスランド）39
④デブロウ（フランス）38
⑤フラッツ（西ドイツ）37
⑥コライルコフ（ブルガリア）36
　ボウレ（フランス）36
⑧ベルベシュ（ルーマニア）34
⑨スティンガ（ルーマニア）32
　J・F・ムニヨス（スペイン）32

〔**歴代優勝国**〕

①（1977）　スウェーデン
②（1979）　スペイン
③（1981）　ポーランド
④（1983）　ハンガリー
⑤（1985）　西ドイツ
⑥（1987）　ソ連　※日本14位

第2回世界女子選手権 Cグループ

〔1988年10月26日～11月1日・フランス〕

• 予選リーグ1組

アイスランド	24—11	ギリシャ
フランス	22—13	ポルトガル
スペイン	17—10	ポルトガル
ポルトガル	26—8	ギリシャ

スペイン	19—12	アイスランド
スペイン	31—8	ギリシャ
フランス	16—12	アイスランド
フランス	29—8	ギリシャ
アイスランド	19—19	ポルトガル
フランス	16—12	スペイン

〔順位〕①フランス②スペイン③アイスランド④ポルトガル⑤ギリシャ

・2組

ベルギー	18—17	イタリア
オランダ	19—18	スイス
スウェーデン	16—12	スイス
オランダ	15—8	ベルギー
スイス	16—12	ベルギー
スウェーデン	30—10	イタリア
スウェーデン	29—9	ベルギー
オランダ	29—16	イタリア
スイス	24—17	イタリア
スウェーデン	26—17	オランダ

〔順位〕①スウェーデン②オランダ③スイス④ベルギー⑤イタリア

・9～10位決定戦

イタリア	19—14	ギリシャ

・7～8位決定戦

ポルトガル	18—17	ベルギー

・5～6位決定戦

アイスランド	19—17	スイス

・3～4位決定戦

スペイン	19—17	オランダ

・決勝戦

スウェーデン	19（9—8 / 10—10）18	フランス

第1回アジア男子ユース選手権

〔1988年8月5日～15日・シリア〕

・予選リーグA組

シリア	27—22	パレスチナ
台湾	19—17	パレスチナ
シリア	20—19	台湾

・B組

クウェート	31—20	イラン
アラブ首長国連邦	24—17	イラン
クウェート	22—16	アラブ首長国連邦

・C組

カタール	12（6—7 / 6—4）11	日本
韓国	20—15	カタール
韓国	33（20—10 / 13—8）18	日本

・7～9位決定戦

日本	19（8—9 / 11—10）19	パレスチナ
パレスチナ	25—23	イラン
日本	23（10—10 / 13—9）19	イラン

〔順位〕⑦日本⑧パレスチナ⑨イラン

・決勝リーグ

韓国	30—18	アラブ首長国連邦
シリア	18—16	カタール
クウェート	35—22	台湾
アラブ首長国連邦	20—15	カタール

韓国	37—24	クウェート
カタール	18—17	台湾
韓国	33—19	シリア
台湾	31—19	アラブ首長国連邦
クウェート	25—18	シリア

〔**順位**〕①韓国②クウェート③シリア④台湾⑤カタール⑥アラブ首長国連邦

〔**日本代表**〕団長／伊藤和夫　監督／本田洋　コーチ／早川清孝　総務／美馬幸則　選手／・ＧＫ大橋一弘，須田洋介，四方篤，・ＦＰ松本孝，藤井達也，豊島博世，花岡道治，谷村貴郎，後藤聡，関根和彦，弟子丸隆一郎，森本彰宏，中垣内孝生，石木歩。

第７回世界男子ジュニア選手権アジア大陸予選

◇極東地区（３月26，28日・韓国）

韓国	41（21—9, 20—4）	13	日本
韓国	34（16—13, 18—10）	23	日本

〔**日本代表**〕監督／早川清孝　コーチ／東根明人，細木建夫　選手／・ＧＫ工藤竜，比嘉薫，高木俊明，・ＦＰ三輪澄高，相馬栄司，林昌英，源内利之，川崎啓三，大村耕一，中山剛，広瀬隆，鎌塚和彦，柏崎孝，熊谷秋透，長嶺毅志，岩本真典，加藤剛基。

・中東地区

クウェート	17—17	カタール
クウェート	16—15	カタール

・アジア大陸代表決定戦

韓国	23—23	クウェート
韓国	22—20	クウェート

(注)本大会は1989年10月（スペイン）。

1987～88ヨーロッパ３大会決勝記録

〔1988年４～５月〕

◇男子

・第32回ヨーロッパ・カップ

チェスカ・モスクワ(ソ連)	18—15	ＴＵＳＥＭ・エッセン(西独)
エッセン	21—18	モスクワ

(注)モスクワの優勝

・第13回カップ・オブ・カップス

ＴＶ・グロスバルスタット(西独)	24—21	スカ・ミンスク（ソ連）
ミンスク	27—15	グロスバルタット

・第７回ＩＨＦカップ

グラニタス・カウナス(ソ連)	21—20	ミナウール・バイア・メア(ルーマニア)
メア	23—20	カウナス

◇女子

・第27回ヨーロッパ・カップ

スパルタク・キエフ(ソ連)	16—14	ヒポ銀行(オーストリア)
キエフ	17—17	ヒポ銀行

・第12回カップ・オブ・カップス

クーバン・クラサンドール(ソ連)	28—17	バシャス・ブダペスト(ハンガリー)
クラサンドール	20—20	ブダペスト

・第7回ＩＨＦカップ

イグル・ビルニウス(ソ連)	34—20	ブドクノスト・テイトグラド(ユーゴ)
ビルニウス	32—22	テイトグラド

日韓交流定期戦

◇第22回高校男子（第７回男子ジュニア，横浜商工訪韓，８月，浦項）

横浜商工	27—25	永川
永東	32—29	横浜商工

◇第15回高校女子（第７回女子ジュニア，昭和学院訪韓，８月，浦項）

昭和学院	20—17	亀尾女商
仁川女	24—14	昭和学院

◇第16回女子社会人（西日本実業団選抜訪韓，５月23～31日）

大鮮酒造	29—20	西日本選抜
光州市庁	36—34	西日本選抜
清州市庁	33—22	西日本選抜
韓国造幣公社	29—22	西日本選抜
仁川市庁	30—22	西日本選抜

来日ナショナルチーム

（1988年４月～1989年３月）

◇アイスランド男子（1988年４月）

団長／マグヌッソン　監督／コワルチク　コーチ／Ｇ・グッドムンドソン　選手／・ＧＫソルバルダルソン，クフアラン，・ＦＰマティエセン，Ｊ・シグルドソン，グリムソン，スラインソン，グンナルソン，ギルソン，レイフソン，グッドムンドソン，シグルドソン，スベインソン，クリスチャンセン，ヒルマルソン，ヨナソン，オラフソン。

◇ユーゴ男子（1988年７月）

団長／プピッチ　副団長／ラーミッチ　渉外／スノイ　監督／アルスラナジッチ　コーチ／グラバス　選手／・ＧＫバシッチ，プシュニク，ベリッチ・ＦＰルニッチ，ヤラック，メミッチ，スマイルジッチ，ペルコバッチ，プッチ，ポートナー，ブヨビッチ，サラセビッチ，ナチノビッチ，プロキッチ。

◇スウェーデン男子（1988年９月）

団長／ストリヨーム　監督／カールソン　コーチ／ホルモビスト　選手／・ＧＫ，Ｍ・オルソン，ヘルグレン，フランソン，・ＦＰヤールファグ，ヴィランダー，エクルント，リンドグレン，カーレンハヤス，カールソン，Ｂ・ジ

ルセン，Ｐ・ジルセン，ショーグレン，フランソン，Ｓ・オルソン，ソールソン。
(注)本年度は女子の来日なし

主要国際試合
（1988年４月～1989年３月）

全日本男子ヨーロッパ遠征（1988年４月）

▽西ドイツ

ＴｕＳＥＭエッセン	25―23	日本
ＴｕＲｕ・デュッセルドルフ	26―25	日本
ＶｆＬ・グンメルスバッハ	27―21	日本

▽アイスランド

日本	23―15	ベストマニエル島選抜

※このほかアイスランド代表と３試合（　頁参照）

〔**遠征メンバー**〕監督／野田清　コーチ／津川昭，佐藤要二　渉外／塙敏　選手／＊ＧＫ井藤英忠，矢内浩，橋本行弘，秋吉哲男，＊ＦＰ玉村健次，荷川取義浩，奥田新治，酒巻清治，立木浩二，田口隆，山村敏之，藤井孝一，山本興道，首藤信一，宮下和広，西山清，藤井泉，高村誠一。

多摩市(東京)ハンドボール少年団男子韓国遠征（1988年４月）

※試合記録未報告

大崎電気女子（埼玉）ヨーロッパ遠征（1988年４月）

▽スウェーデン

大崎電気	26―19	ギヨイフ・エスキルスチナ
大崎電気	31―27	ボギーセン・ストックホルム

▽ハンガリー

スパルタカス	46―43	大崎電気

＊ブタペスト

スパルタカス	37―35	大崎電気

▽チェコ

チェコナショナル	47（22―12 / 25―13）25	大崎電気
ＴＪ・ゴッドバルドフ	37―29	大崎電気
大崎電気	32―27	ＴＪ・フホロベック
大崎電気	27―17	タトラン・プレソフ
大崎電気	28―27	スラビア・プラハ

大和銀行女子（大阪）ヨーロッパ遠征（1988年４月）

▽西ドイツ

大和銀行	27―19	クレーム・ハイン
ＶｆＬ・シンデルフィンゲン	29―26	大和銀行

大和銀行	39—15	TV・ガーデンハイム

▽オーストリア

大和銀行	24—20	WAT・ヒュンフハウス
大和銀行	24—13	WAT・ヒュンフハウス

清州市庁（韓国女子）来日
（1988年4月）

清州市庁	31—26	ブラザー工業
清州市庁	27—22	ジャスコ

全日本男子ユーゴ遠征
（1988年5月）

ボラック・バンヤルカ	28—26	日本
日本	42—22	ボスナ・モンタージャ
日本	29—19	RK・プツァポ
日本	32—29	メドベスチャク・ザグレブ
日本	30（16—9 / 14—16）25	ユーゴ・ジュニア

※このほかユーゴ代表と1試合（　頁参照）

〔**遠征メンバー**〕団長／北川勇喜　監督／野田清　コーチ／津川昭，佐藤要二，塙敏　選手／・GK井藤英忠，矢内浩，橋本行弘，・FP西山清，高村誠一，玉村健次，荷川取義浩，奥田新治，立木浩二，酒巻清治，田口隆，山村敏之，藤井孝一，山本興道，藤井泉。

1988サマー・レディスカップ
（1988年7月・4チームリーグ）

スパルタカス・ブダペト（ハンガリー）	35—31	韓国体育大（韓国）
大崎電気	31—30	全日本
ブダペスト	35—29	全日本
韓国体育大	37—34	大崎電気
韓国体育大	27—25	全日本
ブダペスト	36—27	大崎電気

〔**順位**〕①スパルカタス・ブダペスト②韓国体育大③大崎電気④全日本

〔**全日本メンバー**〕監督／檻塚正一　コーチ／水上一，佐藤章治　総務／梶岡俊介　選手／・GK小深田由紀子，村山みどり，小口明子，・FP松尾輝子，松沢祐子，尾苗裕美，丸田紀子，赤瀬珠栄，海道元子，上村多恵子，渡辺佳乃子，磯山弘美，西村朋子，市来未央，林智恵，松田史佳，橋本美奈子，比嘉晴美。

スパルタカス・ブダペスト（ハンガリー女子）来日
（1988年7月）

S・ブダペスト	26—24	日体大
全日本	26（10—14 / 16—9）23	S・ブダペスト

（注）メンバーは前掲「サマー・レディスカップ」に同じ

上海選抜（中国男子）来日
（1988年7月）

上海選抜	28—23	函館大

上海選抜	20—17	全函館

ATV・バーゼルシュタット（スイス男女）来日（1988年7月）

▽男子

A・バーゼル	24—13	中村荷役運輸
A・バーゼル	25—17	トヨタ自動車
A・バーゼル	27—22	京都選抜
A・バーゼル	29—24	本田技研熊本

▽女子

JUKI	26—16	A・バーゼル
ブラザー工業	18—16	A・バーゼル
京都選抜	22—20	A・バーゼル
立石電機山鹿	25—9	A・バーゼル

松中国民学校（韓国男子・小学生）来日　（1988年8月）

松中学校	16—2	三角東小
松中学校	18—2	中央北小
松橋中1・2年	11—8	松中学校
松中学校	29—18	出水中学

仁川九月国民学校（韓国女子・小学生）来日　（1988年8月）

仁川九月学校	18—3	網津小
仁川九月学校	27—4	豊野小
仁川九月学校	23—4	舞鶴小
仁川九月学校	22—7	明野東小
仁川九月学校	34—11	明野西小

三重高校選抜（男女）韓国遠征（1988年8月）

▽男子

清州機械工高	37—18	三重高校選抜
三重高校選抜	23—21	高麗高
清州機械工高	28—25	三重高校選抜

▽女子

一信女高	22—13	三重高校選抜
清州市庁	34—12	三重高校選抜
清州市庁ジュニア	32—12	三重高校選抜
一信女高	23—14	三重高校選抜

東一女子高（韓国女子）来日（1988年8月）

東一女高	41—8	明石市高校選抜
東一女高	28—13	鈴蘭台高
東一女高	35—16	鈴蘭台高
東一女高	28—16	大和銀行

筑波大女子（茨城）中国遠征（1988年8月）

筑波大	25—25	上海女子手球隊
筑波大	25—21	上海青年隊
筑波大	34—15	上海建設学院大

ジャスコ（三重，女子）中国遠征　（1988年9月）

ジャスコ	25—25	天津手球隊
天津手球隊	25—22	ジャスコ
上海手球隊	26—25	ジャスコ
ジャスコ	22—17	上海手球隊

日新製鋼（広島，男子）中国遠征　（1988年12月）

▽第1回「五象杯国際」参加

日新製鋼	26—20	北京手球選抜
日新製鋼	31 (15—5 / 16—7) 12	香港ナショナル
日新製鋼	40 (18—2 / 22—5) 7	ネパール・ナショナル
日新製鋼	37 (20—10 / 17—8) 18	オーストラリア・ナショナル
日新製鋼	35—24	広西省選抜
中国ナショナル	27 (14—13 / 13—12) 25	日新製鋼

日新製鋼は2位。

兵庫高校選抜（男女）台湾遠征（1988年12月）

▽男子

兵庫選抜	24—20	稲江商職高
西湖工高	20—19	兵庫選抜
致用専門校	30—17	兵庫選抜
兵庫選抜	24—17	台中師範学院
高雄新興ＯＢ	34—27	兵庫選抜
高雄商高	27—14	兵庫選抜

▽女子

稲江護家職技校	22—17	兵庫選抜
兵庫選抜	26—3	十信工商選抜
高雄高級商職工	24—11	兵庫選抜
小港国民中学	21—17	兵庫選抜
兵庫選抜	14—13	小港国民中学
兵庫選抜	13—7	忠明国民中学

和洋女大国府台高（千葉）韓国遠征（1988年10月）

試合記録未報告

第6回日中青少年スポーツ交流 ～4高校遠征～（1988年12月）

▽男子・屋代高（長野）

清華大	33—20	屋代高
屋代高	24—13	北京市青年選抜
屋代高	24—17	北京市第200中学
屋代高	18—16	理工学院
屋代高	30—21	天津第十八中学
屋代高	27—13	天津青年手球隊

▽女子・藤村女高（東京）

北京青年隊(Ⅰ)	33—13	藤村女高
北京青年隊(Ⅱ)	18—18	藤村女高
藤村女高	15—7	北京青年隊(Ⅲ)
理工学院	26—11	藤村女高
藤村女高	28—5	天津第41中学
天津技術師範学院	15—13	藤村女高

▽女子・彦根商高（滋賀）

彦根商高	21—15	北京市第200中学
宣武地選抜	12—12	彦根商高
北京青年隊(Ⅱ)	30—19	彦根商高
天津技術師範学院	22—16	彦根商高
彦根商高	18—16	理工学院
彦根商高	26—3	天津第41中学

▽女子・佐賀関高（大分）

北京青年隊(Ⅰ)	31—21	佐賀関高
佐賀関高	23—17	北京青年隊(Ⅱ)
北京青年隊(Ⅲ)	29—22	佐賀関高
佐賀関高	41—3	天津第41中学
天津技術師範学院	24—20	佐賀関高

大崎電気男子（埼玉）ヨーロッパ遠征（1989年1月）

▽西ドイツ（第8回ニーダザクセン国

際カップ参加）

ブラマック・ベスムレム(ハンガリー)	32—25	大崎電気
ミナウール・バイア・メア(ルーマニア)	32—22	大崎電気
チェスカ・モスクワ(ソ連)	34—33	大崎電気
VfL・ハメルン(西独)	27—16	大崎電気

※大崎電気は5位

・同（ブローレル・カップ参加）

OSC・ラインハウゼン	18—12	大崎電気
TuSEM・エッセン	23—19	大崎電気
U・73・Bザルツフレン	20—19	大崎電気

※大崎電気は4位

・親善試合

A・フレンツブルグ	22—17	大崎電気
大崎電気	25—25	HSG・ハルテルン

▽ハンガリー

大崎電気	27—22	ベミューソリマール
ブラマック・ベスブレム	42—28	大崎電気
大崎電気	33—24	SC・センレンドウレ

東京女子体育大（東京）韓国遠征（1989年1月）

韓国体大	33—21	東女体大
韓国体大	37—22	東女体大
韓国体大	32—28	東女体大
韓国体大	20—15	東女体大
韓国体大	38—20	東女体大

大同特殊鋼（愛知・男子）韓国遠征（1989年2月）

試合結果未報告

全日本女子ジュニア韓国遠征（1989年3月）

東一女高	34—30	全日本女子J
全日本女子J	29—26	東一女高
韓国体大	34—14	全日本女子J
貞信女高	25—15	全日本女子J
全日本女子J	29—29	昌文女高
昌文女高	27—24	全日本女子J
全日本女子J	23—15	昌文女高
韓国体大	30—16	全日本女子J
徽慶女高	30—28	全日本女子J

▽練習試合

全日本女子J	10—6	貞信女高

〔遠征メンバー〕 監督／山崎武　コーチ／土井秀和　田中守　選手／・GK千葉輝美，岩井千代子，小松崎浩子，・FP稲田千鶴，西村聖子，生方みゆき，佐藤優子，斉藤八千代，飯塚景子，森里美，柳内千秋，日比野雅子，後藤真智江，甲斐三紀子，竹吉由江，高浪栄江，野村由加里，比嘉恵美子，山本真理，上田寿磨子，西田由紀子。

◆日本協会代表チーム以外の試合記録は「日本協会単独国際交流規程」に基づいて報告されたものを主体に掲載。

全日本男子 公式国際試合

（1988年４月～1989年３月）

・〇内数字は公式国際試合通算回数

(233)1988年４月４日（ウエストマン島）

アイスランド 25（11—8／14—13）21 日本

ＧＫ／矢内，井藤，橋本，ＦＰ／山村３，玉村６，高村１，立木２，宮下４，田口隆０，首藤４，奥田１，藤井泉０，山本興０，荷川取０。

(234)88年４月５日（レイキヤビク）

アイスランド 29（14—13／15—12）25 日本

ＧＫ／，井藤，橋本，ＦＰ／玉村７，高村２，立木３，田口０，宮下３，奥田２，藤井３，山村３，首藤２，山本０，荷川取０，酒巻０。

(235)88年４月６日（レイキヤビク）

日本 17（12—10／5—7）17 アイスランド

ＧＫ／橋本，井藤，ＦＰ／玉村１，高村２，立木０，田口０，宮下３，奥田０，藤井２，山村４，首藤２，山本２，荷川取１，酒巻０。

(236)88年４月30日（代々木第一）＝88国際スポーツフェア

アイスランド 24（11—12／13—11）23 日本

ＧＫ／矢内，井藤，橋本，ＦＰ／玉村２，高村１，立木２，田口０，宮下９，奥田１，藤井４，山村０，首藤２，山本０，西山２，荷川取０。

(237)88年５月２日（代々木第一）＝88国際スポーツフェア

日本 22（11—7／11—12）19 アイスランド

ＧＫ／井藤，矢内，橋本，ＦＰ／玉村２，西山２，高村１，立木５，田口０，宮下３，奥田４，藤井２，山本３，首藤０，酒巻０，荷川取０。

(238)88年５月４日（名古屋）

アイスランド 19（12—8／7—10）18 日本

ＧＫ／秋吉，井藤，橋本，ＦＰ／西山０，藤井泉２，藤井孝０，宮下３，玉村０，高村２，立木３，田口１，首藤４，山村１，荷川取０，酒巻２。

(239)88年５月５日（大阪）

日本 19（13—7／6—12）19 アイスランド

ＧＫ／井藤，矢内，橋本，ＦＰ／宮下２，玉村８，首藤１，山本３，高村０，立木０，田口０，奥田２，藤井泉３，山村０，酒巻０，荷川取０。

㉔0 88年５月21日（サラエボ）

ユ　ー　ゴ33（17―12／16―14）26日　　　本

ＧＫ／井藤，矢内，ＦＰ／西山０，山本２，玉村７，荷川取０，藤井泉２，首藤４，立木４，藤井孝１，宮下６，酒巻０。

㉔1 88年５月26日（スコピエ）＝第28回ユーゴトロフィ

ポーランド28（14―10／14―16）26日　　　本

ＧＫ／井藤，矢内，橋本，ＦＰ／山本４，玉村８，首藤２，荷川取０，立木４，田口１，宮下５，奥田１，藤井泉０，山村０，藤井孝１。

㉔2 88年５月27日（スコピエ）＝第28回ユーゴトロフィ

日　　　本21（13―７／８―14）21ユ　ー　ゴ

ＧＫ／矢内，橋本，井藤，ＦＰ／立木３，宮下５，藤井孝１，山村１，山本３，玉村５，荷川取２，首藤０，田口０，藤井泉１。

㉔3 88年５月28日（スコピエ）＝第28回ユーゴトロフィ

ソ　　　連32（14―９／18―６）15日　　　本

ＧＫ／橋本，井藤，矢内，ＦＰ／山本０，玉村４，荷川取０，首藤１，高村０，立木３，田口１，宮下３，奥田０，藤井泉１，山村２。

㉔4 88年５月29日（スコピエ）＝第28回ユーゴトロフィ

スウェーデン19（９―７／10―11）18日　　　本

ＧＫ／井藤，矢内，橋本，ＦＰ／玉村５，宮下４，山村２，山本２，荷川取０，首藤０，高村０，立木２，田口０，奥田１，藤井泉２。

㉔5 88年７月２日（千葉）

ユ　ー　ゴ28（15―14／13―11）25日　　　本

ＧＫ／井藤，矢内，橋本，ＦＰ／西山０，玉村６，山本０，荷川取０，宮下７，首藤０，藤井泉５，高村５，立木１，田口０，山村１，奥田０。

(注)井藤は公式国際戦出場100回（通算２人目，ＧＫとしては初）

立木は公式国際戦出場50回（通算22人目）

㉔6 88年７月３日（東京青山）

ユ　ー　ゴ25（11―９／14―11）20日　　　本

ＧＫ／矢内，井藤，橋本，ＦＰ／西山２，山村０，山本０，奥田１，玉村８，宮下３，荷川取０，田口１，立木３，首藤２，藤井０，高村０。

㉔7 88年７月６日（岐阜）

ユーゴ30 (14—12 / 16—13) 25日本

GK／橋本，井藤，矢内，FP／西山3，山本2，玉村5，荷川取0，首藤2，藤井0，高村1，立木3，田口2，宮下4，奥田0，山村3。
(注)田口は公式国際戦出場50回（通算23人目）

㉔⑧88年7月7日（名古屋枇杷島）

日本25 (14—13 / 11—8) 21ユーゴ

GK／橋本，井藤，矢内，FP／山村4，奥田0，宮下2，田口0，立木2，高村3，藤井2，首藤0，荷川取0，玉村7，山本1，西山4。
(注)宮下は公式国際戦出場50回（通算24人目）

㉔⑨88年9月13日（大崎電気埼玉）

スウェーデン30 (14—10 / 16—13) 23日本

GK／橋本，矢内，井藤，FP／宮下7，山本3，首藤2，西山3，玉村3，荷川取0，藤井0，高村0，立木1，田口0，奥田1，山村3。
(注)奥田は公式国際戦出場50回（通算25人目）

㉕⓪88年9月20日（スーウオン）＝ソウル・オリンピック

東ドイツ25 (14—10 / 11—8) 18日本

GK／井藤，矢内，FP／藤井泉0，宮下6，西山1，首藤0，立木1，田口0，高村2，玉村3，山本3，山村2。

㉕①88年9月22日（スーウオン）＝ソウル・オリンピック

スペイン25 (13—5 / 12—14) 19日本

GK／井藤，橋本，FP／山村6，宮下4，立木4，西山2，首藤1，玉村1，山本1，奥田0，田口0，高村0。
(注)首藤は公式国際戦出場50回（通算26人目）

㉕②88年9月24日（スーウオン）＝ソウル・オリンピック

ハンガリー22 (10—11 / 12—8) 19日本

GK／矢内，井藤，FP／藤井0，荷川取0，玉村13，山村3，山本0，宮下2，首藤1，立木0，田口0，高村0。

㉕③88年9月26日（スーウオン）＝ソウル・オリンピック

韓国33 (18—11 / 15—13) 24日本

GK／矢内，井藤，FP／宮下4，玉村2，藤井3，西山1，首藤3，立木0，田口1，高村3，山本0，山村7。

㉕88年９月28日（スーウオン）＝ソウル・オリンピック

チ　ェ　コ21 $\left(\begin{matrix}13—7\\8—10\end{matrix}\right)$ 17日　　　本

ＧＫ／橋本，井藤，ＦＰ／山村５，玉村５，藤井２，首藤２，立木２，高村１，宮下０，荷川取０，奥田０，田口０。

㉕88年９月30日（スーウオン）＝ソウル・オリンピック11位決定戦

日　　　本24 $\left(\begin{matrix}8—11\\16—10\end{matrix}\right)$ 21アメリカ

ＧＫ／井藤，矢内，ＦＰ／藤井１，宮下０，西山０，首藤２，立木２，田口０，高村４，玉村10，山本０，山村５。

(注)玉村は公式国際戦出場50回（通算27人目）

◆全日本男子の公式国際試合通算成績は255戦105勝13分137敗。

1988年度内は23戦３勝３分17敗。

◆「全日本女子」は1988年４月～1989年３月に公式国際試合は０。現在までの通算成績は120戦39勝５分76敗。

男子ナショナルプレーヤー公式国際試合出場回数ベスト30（女子ベスト20）

～1989年３月31日現在～

〈男子〉

①	蒲生晴明	132試合
②	井藤英忠（GK）	110
③	西山清	98
④	池ノ上孝司	91
⑤	志賀良弘	87
⑥	中本満明	80
⑦	高村誠一	77
⑧	中井武三	74
⑨	山本伸二	73
⑩	木野実	71
⑪	穂積豊彦	70
⑫	斉藤幸司	68
⑬	津川昭	67
⑭	大畑孝広（GK）	64
⑭	本田洋（GK）	64
⑯	立木浩二	60
⑰	田口隆	58
⑱	佐藤要二	57
⑱	藤中憲二	57
⑱	斉藤将一郎	57
⑱	宮下和広	57
㉒	福井秀人（GK）	56
㉒	関健三	56
㉔	花輪博	54
㉔	首藤信一	54
㉖	奥田新治	52
㉗	玉村健次	50
㉘	生駒靖夫	48
㉙	矢内浩（GK）	47
㉙	藤井泉	47

〈女子〉

①	古佐原ひろ子	40試合
①	島田夏枝	40
③	前田重子	37
④	野嶋ちえみ	36
⑤	紀野奈々美	34
⑥	岩村英子	33
⑦	山下恵美子	32
⑦	藏田照美	32
⑦	松下仁美	32
⑩	和田祥子（GK）	31
⑪	山岸和子	30
⑫	矢部登茂子（GK）	29
⑬	葛生豊子（GK）	28
⑬	河田栄子	28
⑮	加藤美起子	27
⑮	井村文光子（GK）	27
⑰	穂積美保子	25
⑱	西典子（故人）	23
⑱	薮田典子	23
⑳	武藤夕起子	22

ナショナルチーム・国別対戦成績（1989年３月31日現在）

【男子】	試	勝	分	負
中国	20	10	3	7
ユーゴ	20	2	2	16
韓国	19	11	0	8
アイスランド	12	4	2	6
イスラエル	10	7	2	1
フランス	10	5	1	4
西ドイツ	10	0	0	10
ソ連	10	0	0	10
東ドイツ	10	0	0	10
アメリカ	10	6	1	3
スウェーデン	9	1	0	8
スウェーデン	9	1	0	8
台湾	8	8	0	0
クウェート	8	7	0	1
ルーマニア	7	0	0	7
ハンガリー	7	1	1	5
ノルウェー	7	3	0	4
ポーランド	6	0	0	6
スペイン	6	0	0	6
チェコ	5	0	1	4
オーストリア	5	3	0	2
デンマーク	4	0	0	4
アルジェリア	4	4	0	2
フィンランド	4	2	0	2
イタリア	4	1	0	3
サウジアラビア	3	3	0	0
スイス	3	0	0	3
パレスチナ	3	3	0	0
オランダ	2	2	0	0
カナダ	2	2	0	0
キューバ	2	1	0	1
ポルトガル	2	2	0	0
ブルガリア	2	1	0	1
アラブ首長国連邦	2	2	0	0
ベルギー	2	2	0	0
インド	2	2	0	0
カタール	2	2	0	0
チュニジア	2	0	0	2
ホンコン	2	2	0	0
バーレーン	1	1	0	0
ヨルダン	1	1	0	0
朝鮮民主主義人民共和国	1	1	0	0
エジプト	1	0	0	1
コンゴ	1	1	0	0
ガルフ	1	1	0	0
イラン	1	1	0	0
ブラジル	1	1	0	0
シリア	1	1	0	0
計	255	105	13	137

【女子】	試	勝	分	負
韓国	12	2	0	10
西ドイツ	10	2	1	7
フランス	9	6	2	1
中国	8	2	1	5
東ドイツ	8	0	0	8
アメリカ	8	7	0	1
台湾	7	7	0	0
チェコ	7	0	0	7
デンマーク	7	1	0	6
ルーマニア	6	0	0	6
ハンガリー	6	0	0	6
ノルウェー	5	1	1	3
ユーゴ	4	0	0	4
ポーランド	4	1	0	3
オランダ	4	2	0	2
ブルガリア	3	1	0	2
チュニジア	3	3	0	0
ソ連	3	0	0	3
イスラエル	2	2	0	0
オーストリア	2	0	0	2
カナダ	1	1	0	0
コンゴ	1	1	0	0
計	120	39	5	76

【男子11人制】	試	勝	分	負
西ドイツ	2	0	0	2
イスラエル	1	1	0	0
計	3	1	0	2

(注)女子11人制はナシ

〔編集後記〕

「イヤーブック」の２号目である。“創刊”の昨年は，おかげさまで好評。改めて球技の記録の大切さをアピールすることにもなった。

きっかけになったのは，日本協会50周年記念事業の「日本ハンドボール史」刊行だが，この大作も，在庫が残り少なくなっており，おそらく，今年内で頒布は打ち切られることになりそう。

多くの愛好者が，それぞれ身近な事業を整理して保存しようという姿勢を示されるようになったのは嬉しい話である。

といっても，まだまだ，日本協会への報告は完全とはいえない。

今回も，報道関係の協力を得なければならなかった。全国大会でさえ記録が届けられていないものがあるのだから驚く。

40回目を迎えた全日本総合選手権を記念して，歴代の決勝戦レフェリーを収録しようとしたが，ごらんのように，かなりの部分を埋められずに終わっている。

ズバリ申し上げれば，最高権威のこの大会でさえ，日本協会そのものには，満足なかたちで，記録が整えられえいないのだ。

このレフェリー・リストも，読者の協力を得て，次年度には空白を無くしたい。ぜひ，資料をお寄せ下さい。

発行期日については，いわゆる機関誌購読年度の終了する７月がよいのか，競技年度が閉幕した直後の５月あたりがよいのか。ご意見を伺いたいが，次年度は５月末刊行をとりあえず目標に置いてみたい。

◇編集企画・荒川清美（日本協会副会長）
◇編集担当理事・川上整司
◇編集・鴨門義夫（日本協会広報委員会委員）
◇協力・「日本ハンドボール史」元編集委員会（入江信太郎，新井節男，藤本強，岡村昭二，村田弘，水上一，嶋田新太郎，杉山茂，滝口三郎，外山准二）

1988 JAPAN HANDBALL YEARBOOK
(昭和63年度日本ハンドボール年鑑)

1989年８月31日　発行

発行者　安藤純光
発　行　財団法人　日本ハンドボール協会

東京都渋谷区神南1-1-1　岸記念体育館内
ＴＥＬ　03-481-2361

（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二八九号
昭和四十年六月七日　第三種郵便物認可
平成一年八月二十六日　印刷
平成一年八月三十一日　発行
東京都渋谷区神南一－一－一
電話 代表（03）三二六－
振替 東京 六－五八三四八番
編集兼発行人　安藤純光
定価三百五拾円
（年間購読料 三千三百円）